

Authoring environment for Web2Print.

Edition BackStage ▲

テンプレート作成・運用手順

第1.0版

RESOLOGIC

はじめに

本書では、「Edition BackStage」でのテンプレートの作成、カセットと素材の登録を行なって、実際にそれらを使った編集の手順を簡単なサンプルを使って説明します。

下記の流れで、すすめていきます。

1. テンプレートの登録
BackStage にデザイナー権限でログインして 新規のテンプレートを登録します。
2. 素材の登録
テンプレートに使う素材を登録します。
3. カセット素材の定義
テンプレートの登録手順で、カセット素材を定義します。
4. カセットの作成・登録
3. で定義したカセット素材の内容を登録してカセット素材を作成して登録します。
5. テンプレートの作成・登録
素材、カセット、を利用してテンプレートを完成させます。
6. テンプレートの編集
作成したテンプレートを使って、カセットや素材を入れ替え、編集して完成させます。



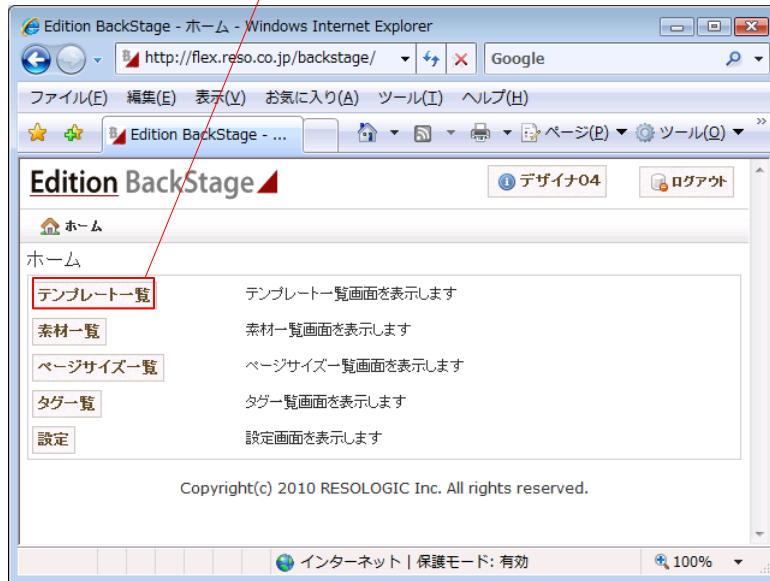
以降の手順は、「Edition BackStage」と「Edition Flex」がデザイナー権限で運用できる環境*にてお試しください。

* Edition BackStage と Edition Flex の環境設定については「ユーザ設定手順」をご参照ください。

1. テンプレートの登録

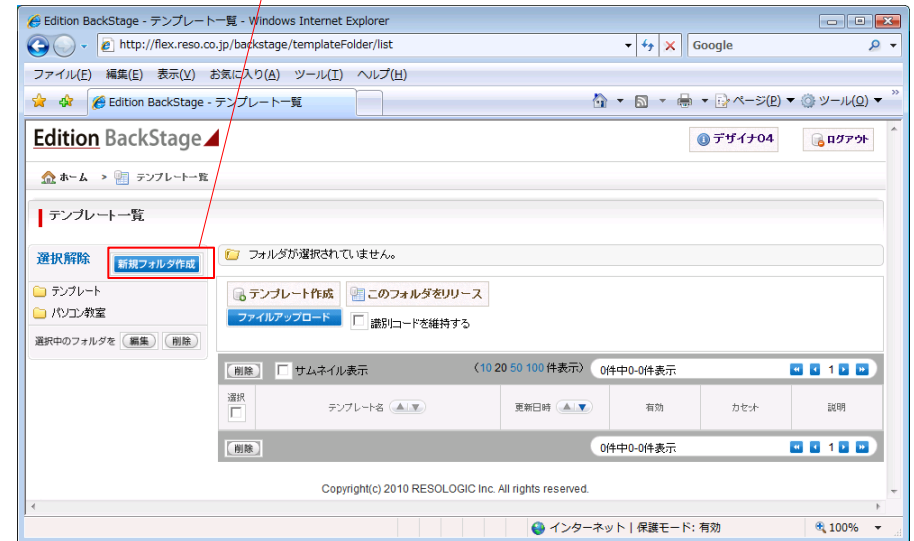
1) テンプレート一覧を選択します。

ホームメニューから「テンプレート一覧」を実行します。



2) 作成するテンプレートを登録するフォルダを作成します。

「新規フォルダ作成」を実行します。

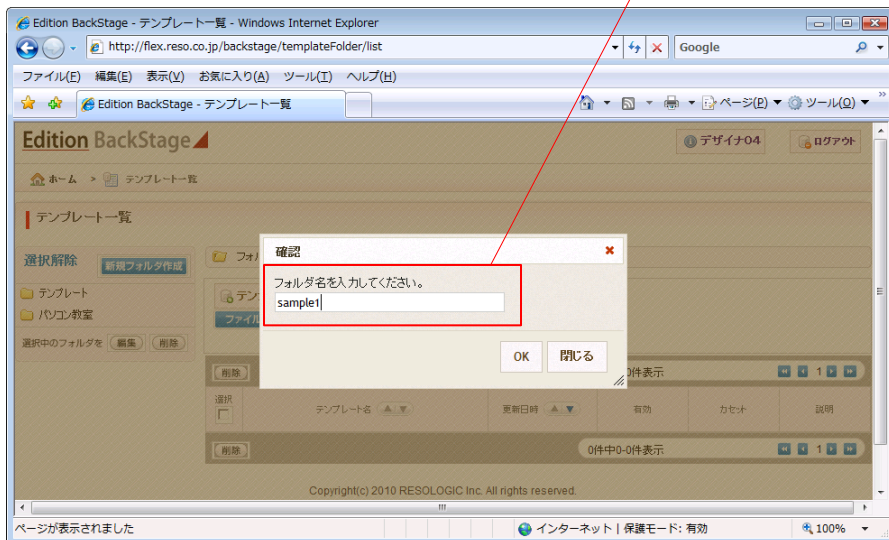


※テンプレート、および素材を登録する際は、いずれかのフォルダが必要です。

1. テンプレートの登録

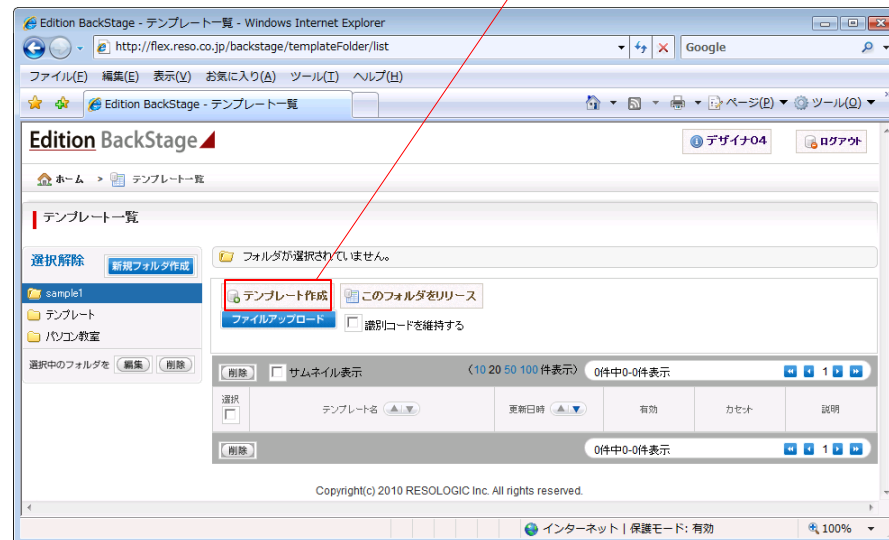
3) フォルダ名を入力します。

フォルダ名の入力ダイアログが表示されますので、“sample1”と入力して「OK」します。



4) テンプレートを作成します。

作成した“sample1”フォルダを選択して、「テンプレート作成」を実行します。

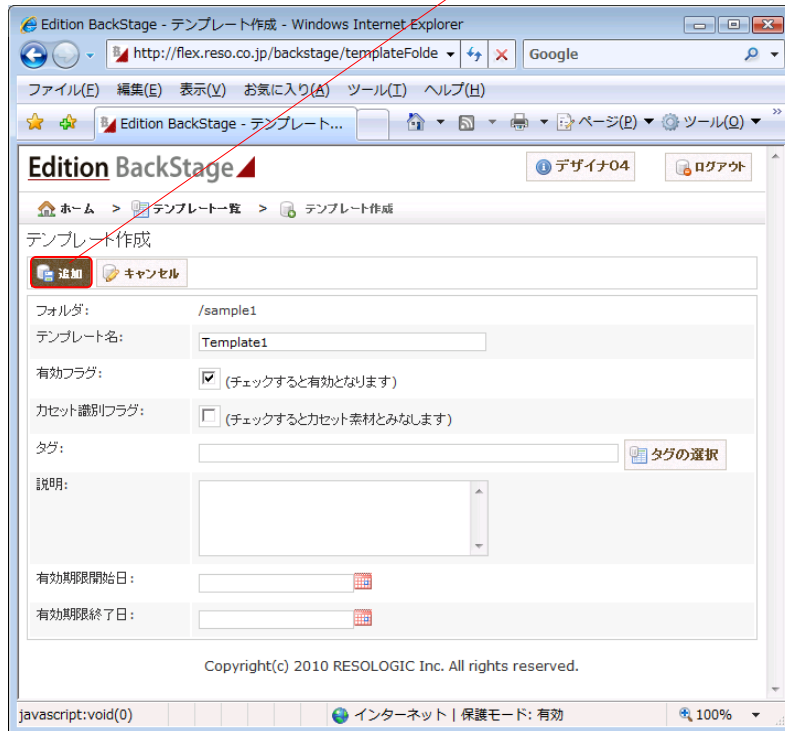


※これから作成するテンプレートが sample1 に登録されます。

1. テンプレートの登録

5) テンプレートの情報を入力します。

作成するテンプレートの情報を入力して[追加]ボタンを押します。

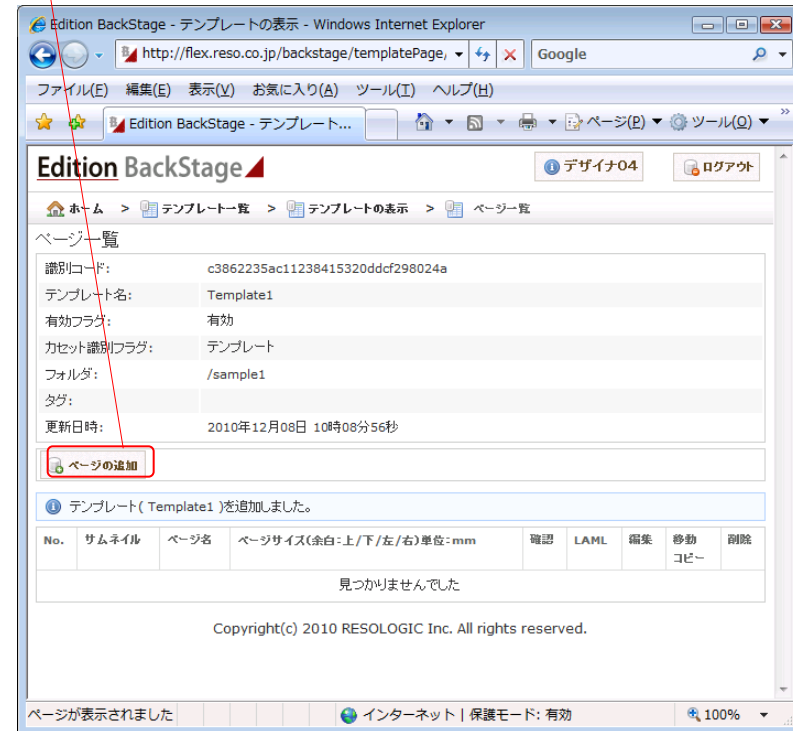


ここでは下記を指定してください。

テンプレート名 : Template1
 有効フラグ : チェックON
 カセット識別フラグ : チェックしません
 タグ : 何も指定しません
 説明 : 何も入力しません
 有効期限開始日 : 何も指定しません
 有効期限終了日 : 何も指定しません

6) 作成したテンプレートにページを追加します。

作成したテンプレートのページ一覧の情報が表示されます。「ページの追加」を実行します。



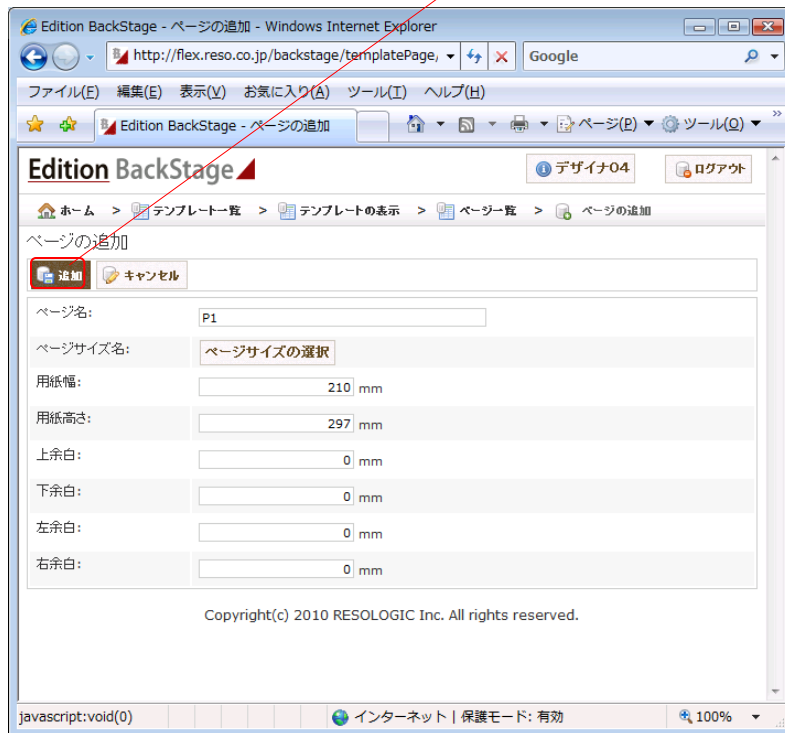
※テンプレート作成直後は上記の画面になりますが、ここでページを追加せずにこの画面を抜けた場合は以降の作業ができません。この画面から抜けてしまった場合は、下記手順で上記画面を表示してページを追加してください。

ホーム > テンプレート一覧 > 「Template1」をクリック > ページ一覧

1. テンプレートの登録

7) ページの情報を入力します。

ページの追加画面で各項目を入力して「追加」ボタンを実行します。

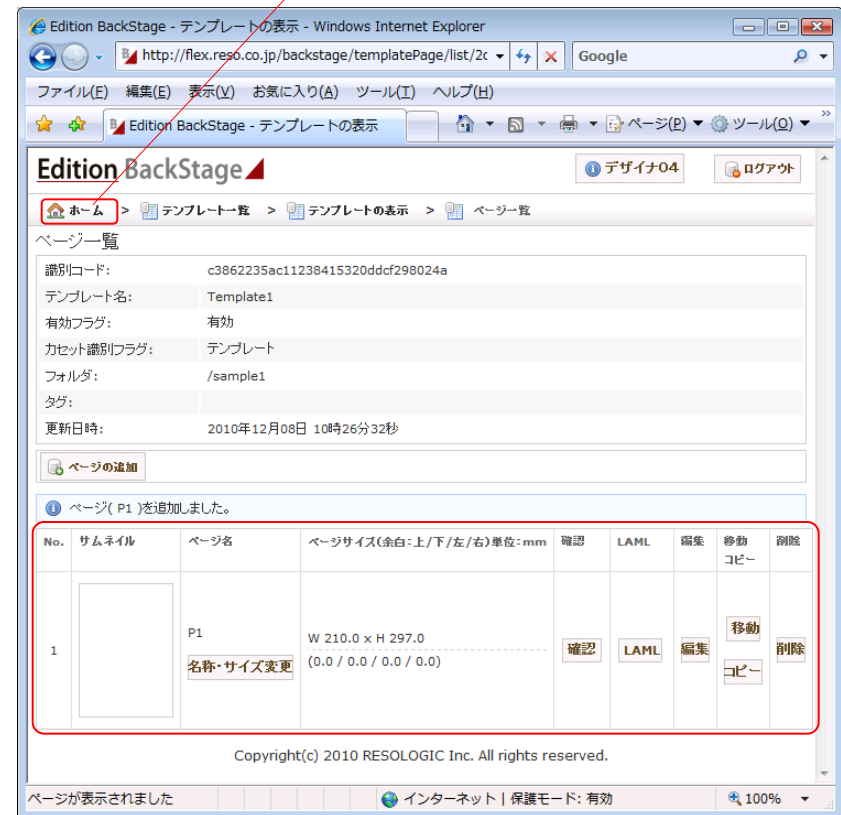


ここでは下記を指定してください。

ページ名 : P1
 ページサイズ名 : ここでは指定しません
 用紙幅 : 210(デフォルトのまま)
 用紙高さ : 297(デフォルトのまま)
 上余白 : 0
 下余白 : 0
 左余白 : 0
 右余白 : 0

8) テンプレート作成を終わります。

ページ一覧画面にページが登録された状態になります。
ナビゲーションバーの「ホーム」をクリックしてテンプレート作成を終ります。

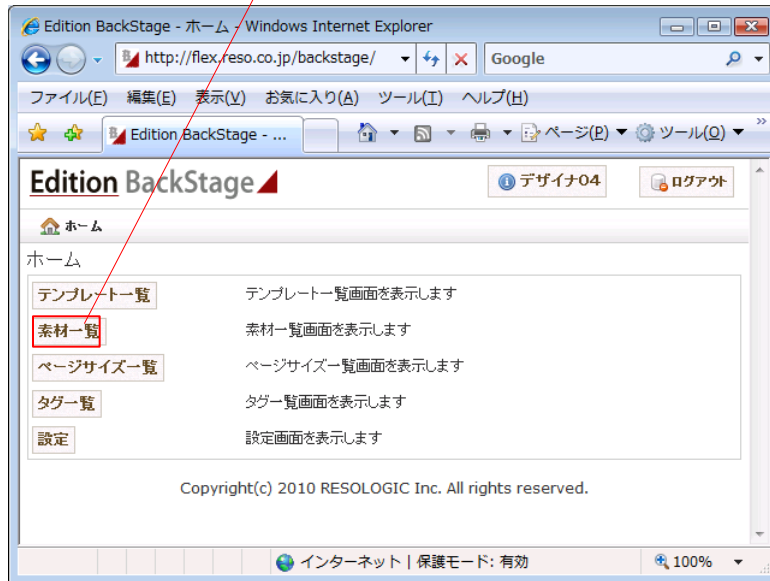


※複数ページを追加する場合はさらに「ページの追加」で追加します。

2. 素材の登録

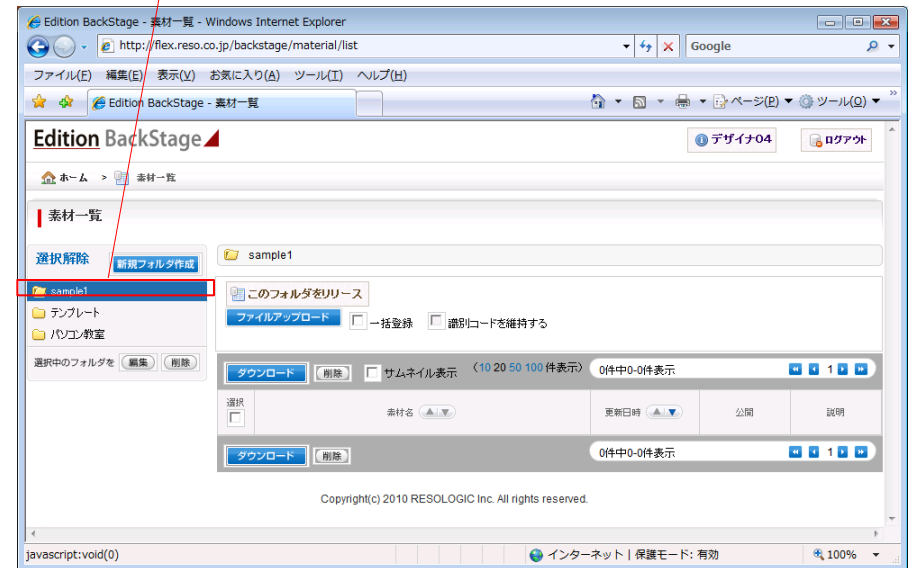
1) 素材一覧を選択します。

ホームメニューから「素材一覧」を実行します。



2) 素材を登録するフォルダを指定します。

「sample1」を選択します。

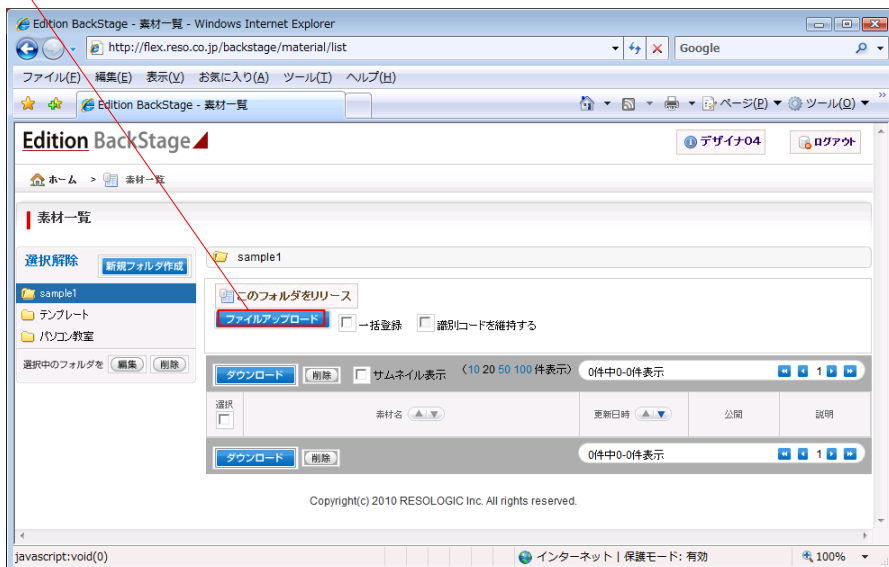


※テンプレート、および素材を登録する際は、いずれかのフォルダが必要です。

2. 素材の登録

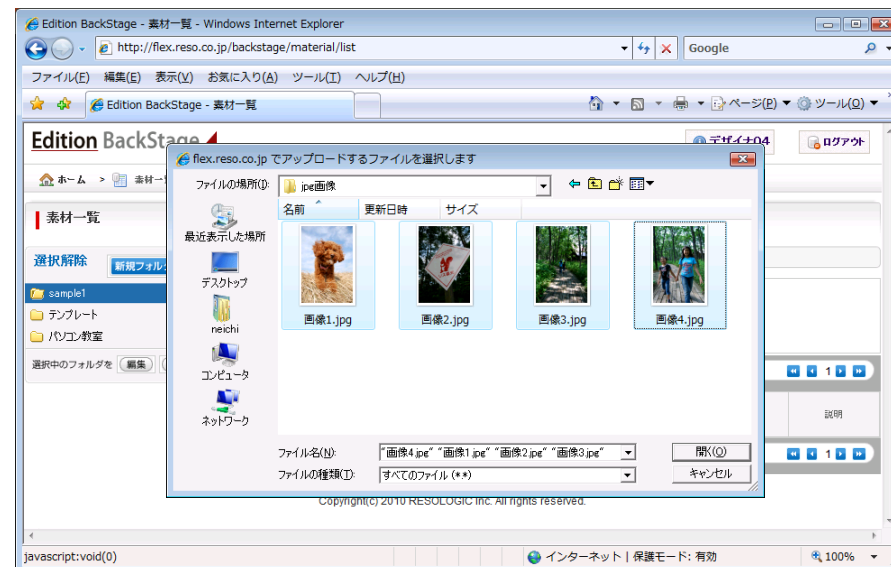
3) ファイルアップロードを実行します。

JPG画像を登録してみます。
「ファイルアップロード」を実行します。



4) 素材ファイルをアップロードします。

手元にあるJPG画像を選択して、登録します。
ここでは 下記の4つのファイルをまとめて選択して「開く」を実行します。

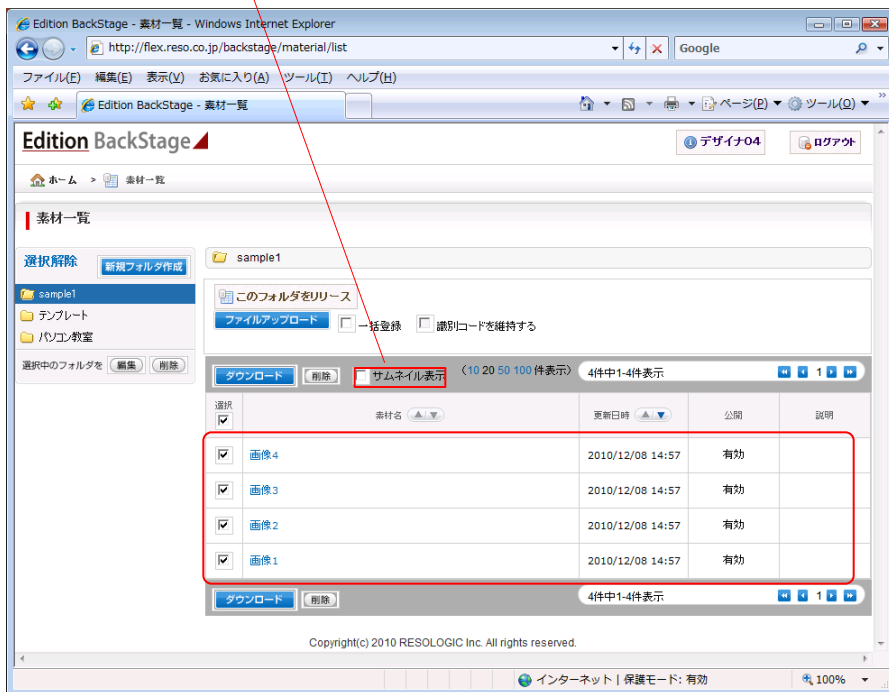


実行直後 1ファイル毎に順番に登録処理が流れ、全てが完了すると
次項の画面になります。

2. 素材の登録

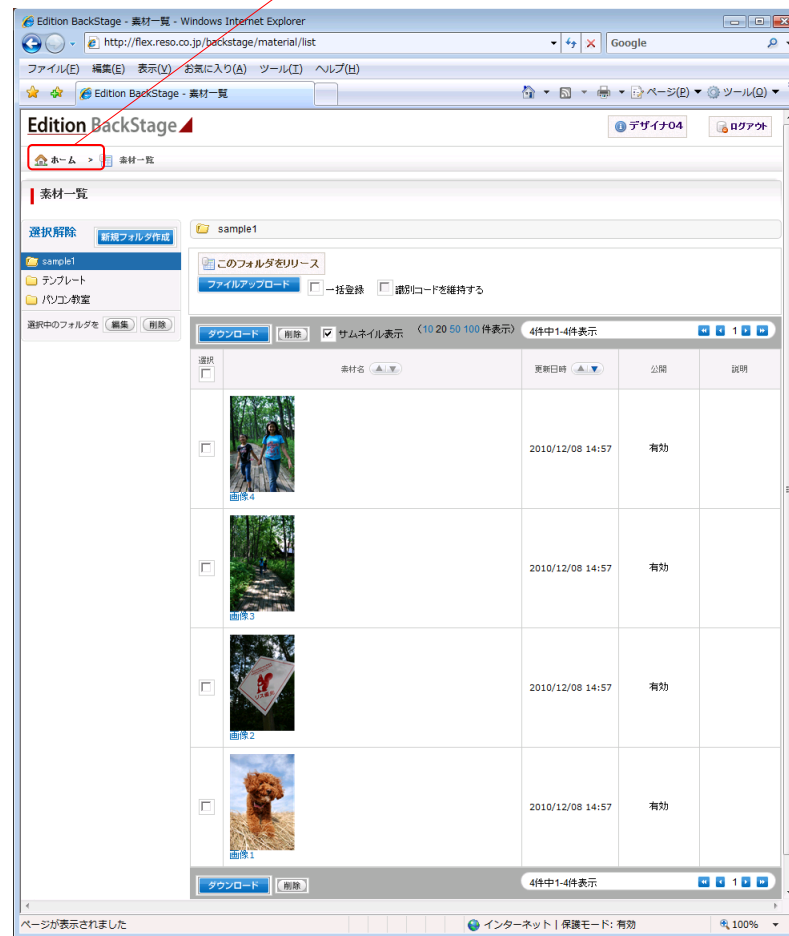
5) 素材一覧に画像が追加されます。

素材一覧にアップロードした画像が登録されます。
 「サムネイル表示」にチェックを入れるとサムネイル表示となります。



6) 素材登録を終わります。

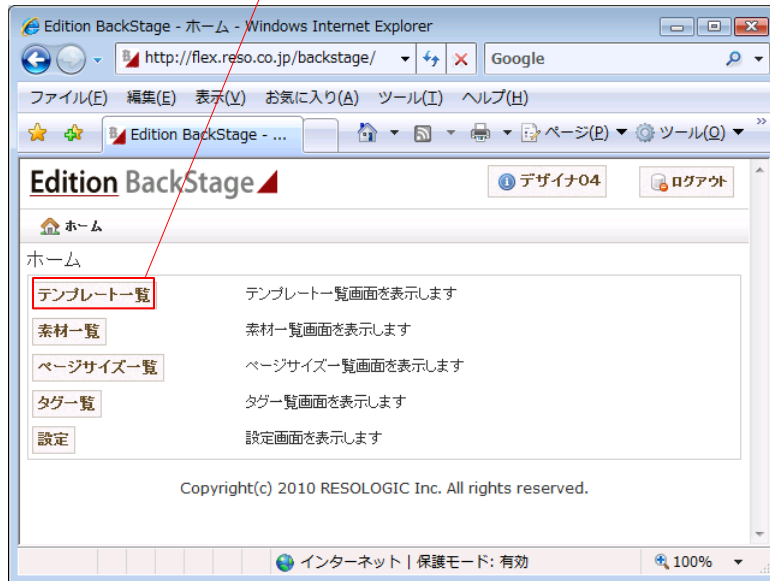
素材がサムネイルで確認もできます。
 ナビゲーションバーの「ホーム」をクリックして一旦素材登録を終わります。



3. カセット素材の定義

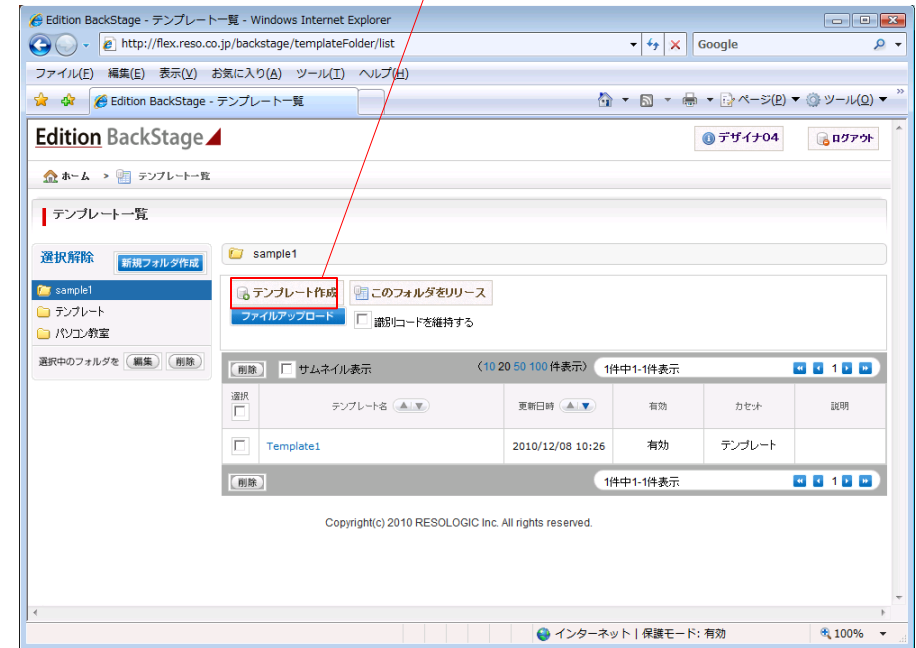
1) 再びテンプレート一覧を選択します。

ホームメニューから「テンプレート一覧」を実行します。



2) テンプレート作成を実行します。

“sample1”フォルダを選択して、「テンプレート作成」を実行します。

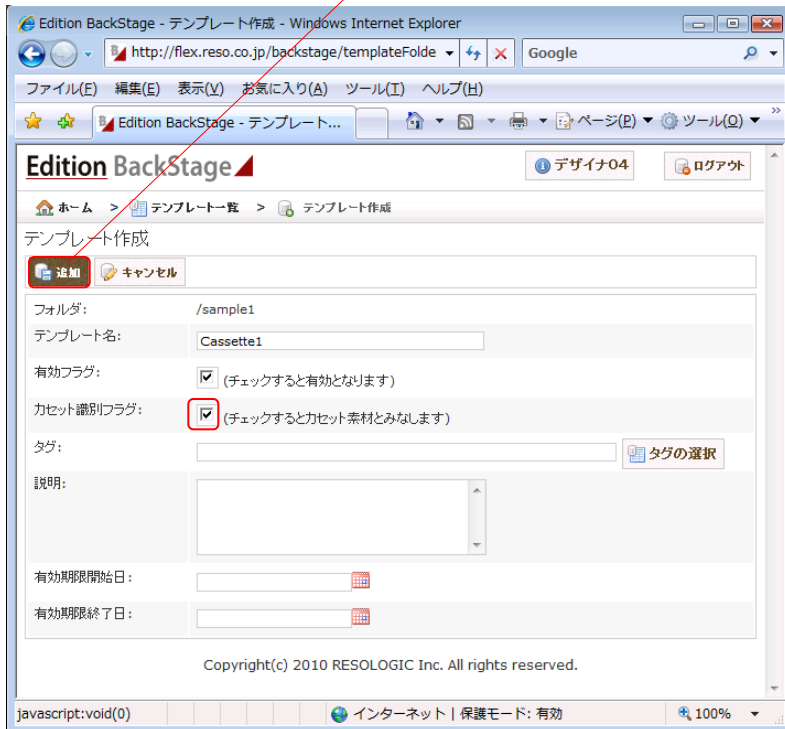


※これから作成するカセット素材が sample1 に登録されます。

3. カセット素材の定義

3) カセットの情報を入力します。

カセットとする情報を入力して[追加]ボタンを押します。

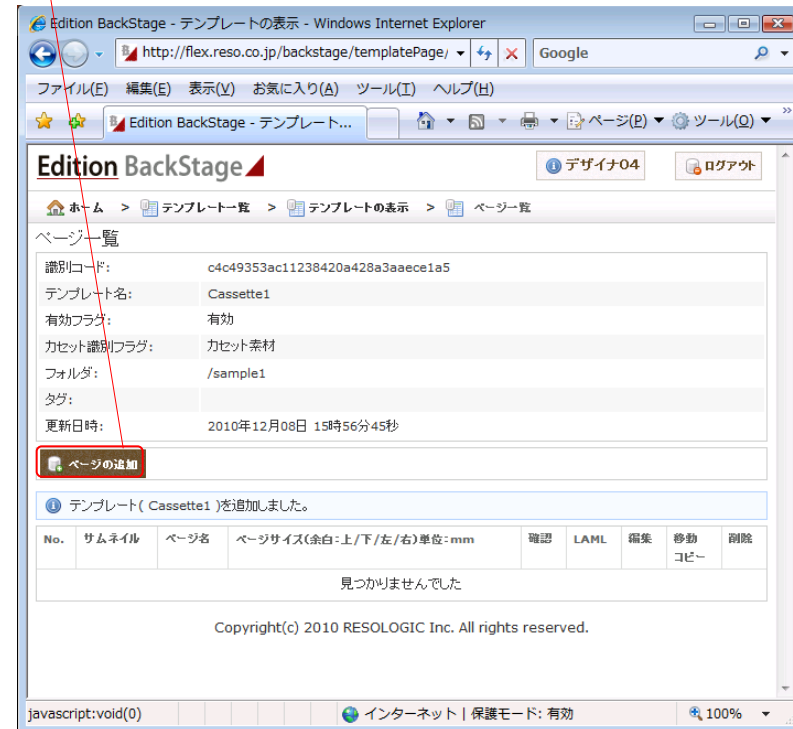


ここでは下記を指定してください。

テンプレート名 : Cassette1
 有効フラグ : チェックON
 カセット識別フラグ : チェックON ←ここをONにします
 タグ : 何も指定しません
 説明 : 何も入力しません
 有効期限開始日 : 何も指定しません
 有効期限終了日 : 何も指定しません

4) 登録したカセット素材にページを追加します。

作成したカセット素材のページ一覧の情報が表示されます。「ページの追加」を実行します。



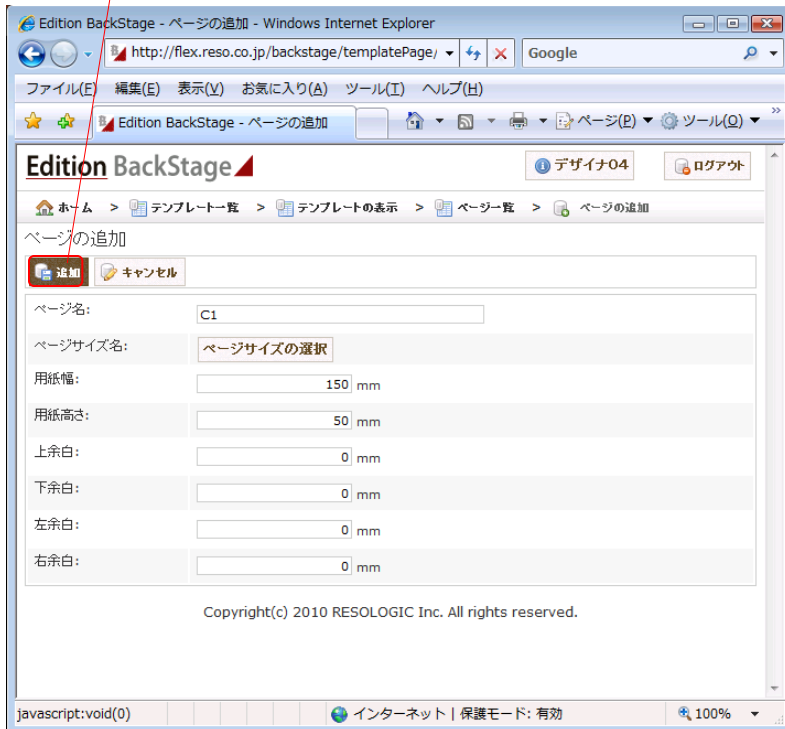
※テンプレート作成直後は上記の画面になりますが、ここでページを追加せずにこの画面を抜けた場合は以降の作業ができません。この画面から抜けてしまった場合は、下記手順で上記画面を表示してページを追加してください。

ホーム > テンプレート一覧 > 「Cassette1」をクリック > ページ一覧

3. カセット素材の定義

5) ページの情報を入力します。

ページの追加画面で、A4用紙上に配置するカセットのサイズを指定して「追加」ボタンを実行します。

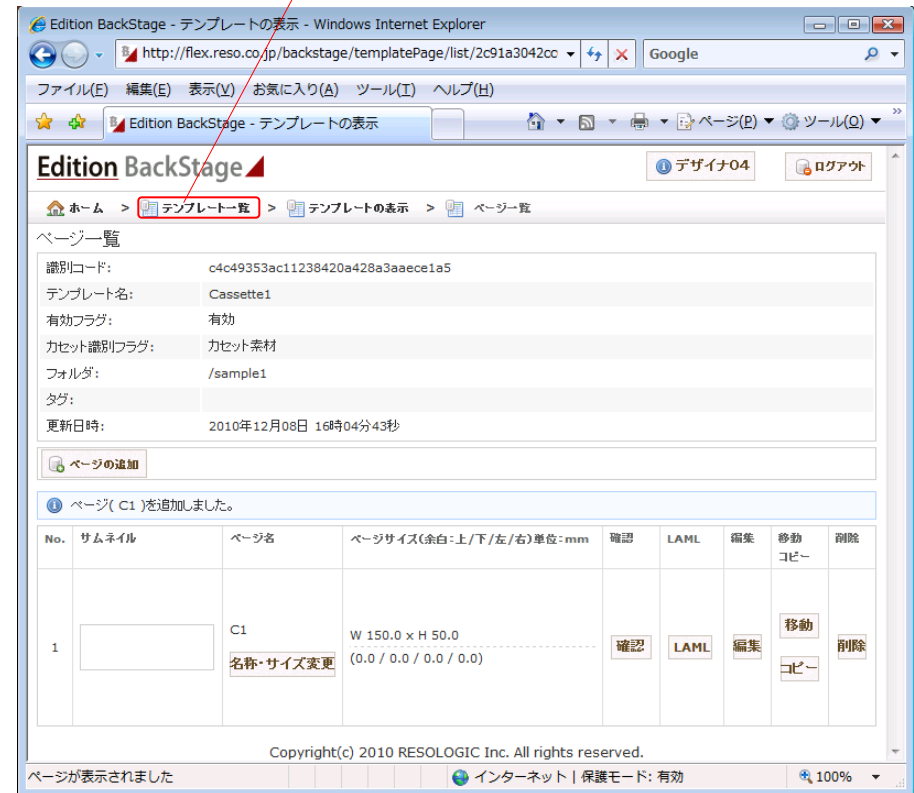


ここでは下記を指定してください。

ページ名 : C1
 ページサイズ名 : ここでは指定しません
 用紙幅 : 150
 用紙高さ : 50
 上余白 : 0
 下余白 : 0
 左余白 : 0
 右余白 : 0

6) カセットが追加されました。

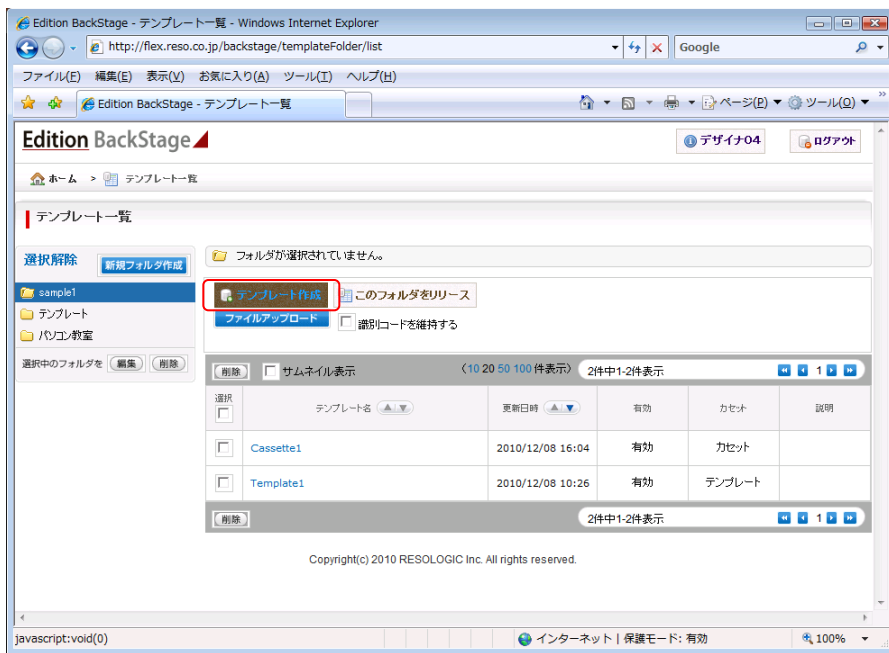
カセットにページが追加され サイズ情報が設定された状態になります。ナビゲーションバーの「テンプレート一覧」をクリックします。



3. カセット素材の定義

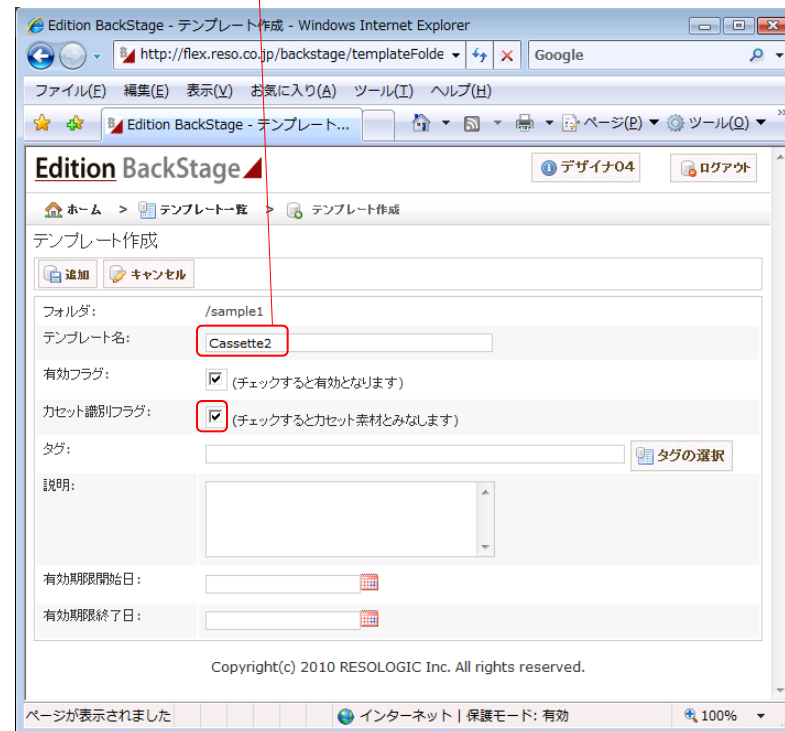
7) もう1つ カセット素材を登録します。

続けて、本章 2) ~ 5) の手順でもう1つカセット素材を登録します。



8) 追加のカセットの情報は下記としてください。

テンプレート名は、Cassette2 とします。



追加分は下記を指定してください。

テンプレート名 : Cassette2
 有効フラグ : チェックON
 カセット識別フラグ : チェックON ←ここをONにします
 タグ : 何も指定しません
 説明 : 何も入力しません
 有効期限開始日 : 何も指定しません
 有効期限終了日 : 何も指定しません

3. カセット素材の定義

9) C1と同じページ情報を追加します。

ページの追加では、Cassette1と同じ名前、幅、高さで追加します。

Edition BackStage - テンプレートの表示 - Windows Internet Explorer

http://flex.reso.co.jp/backstage/templatePage/list/2c91a3042cc

Edition BackStage - テンプレートの表示

デザイン04 ログアウト

ホーム > テンプレート一覧 > テンプレートの表示 > ページ一覧

ページ一覧

識別コード: c4de0bd5ac1123846d5522e615fbc399
 テンプレート名: Cassette2
 有効フラグ: 有効
 カセット識別フラグ: カセット素材
 フォルダ: /sample1
 タグ:
 更新日時: 2010年12月08日 16時42分48秒

ページの追加

ページ(C1)を追加しました。

No.	サムネイル	ページ名	ページサイズ(余白:上/下/左/右)単位:mm	確認	LAML	編集	移動 コピー	削除
1		C1 名称・サイズ変更	W 150.0 x H 50.0 (0.0 / 0.0 / 0.0 / 0.0)	確認	LAML	編集	移動 コピー	削除

Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.

インターネット | 保護モード: 有効

10) テンプレート一覧の確認。

ここまでで、テンプレート一覧には Template1、Cassette1、Cassette2 の3つのデータが登録された状態となります。

Edition BackStage - テンプレート一覧 - Windows Internet Explorer

http://flex.reso.co.jp/backstage/templateFolder/list

Edition BackStage - テンプレート一覧

デザイン04 ログアウト

ホーム > テンプレート一覧

テンプレート一覧

選択解除 新規フォルダ作成

フォルダが選択されていません。

sample1
 テンプレート
 パソコン教室

テンプレート作成 このフォルダをリリース
 ファイルアップロード 識別コードを維持する

選択中のフォルダを 編集 削除

削除 サムネイル表示 (10 20 50 100 件表示) 3件中1-3件表示

選択	テンプレート名	更新日時	有効	カセット	説明
<input type="checkbox"/>	Cassette2	2010/12/08 16:30	有効	カセット	
<input type="checkbox"/>	Cassette1	2010/12/08 16:04	有効	カセット	
<input type="checkbox"/>	Template1	2010/12/08 10:26	有効	テンプレート	

削除 3件中1-3件表示

Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.

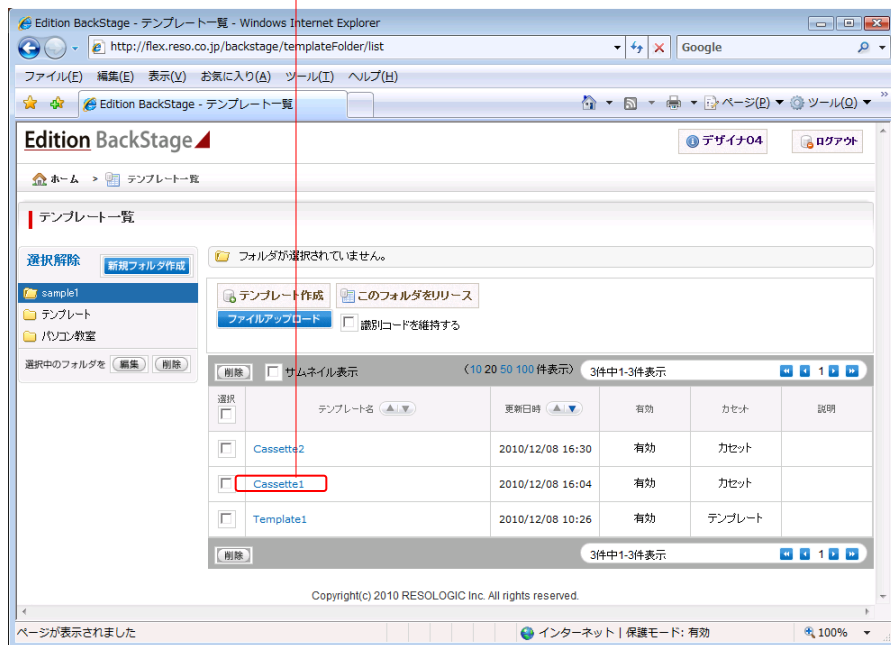
ページが表示されました

インターネット | 保護モード: 有効

4. カセットの作成・登録

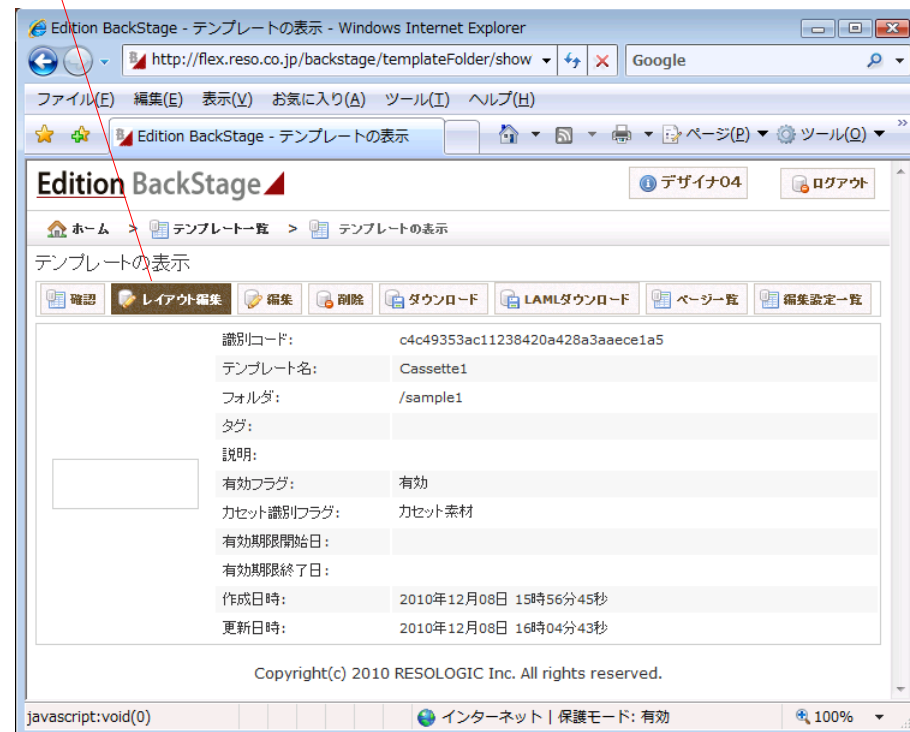
1) テンプレート一覧からカセットを選択してレイアウト編集します。

テンプレート一覧から、Cassette1をクリックします。



2) レイアウト編集を実行します。

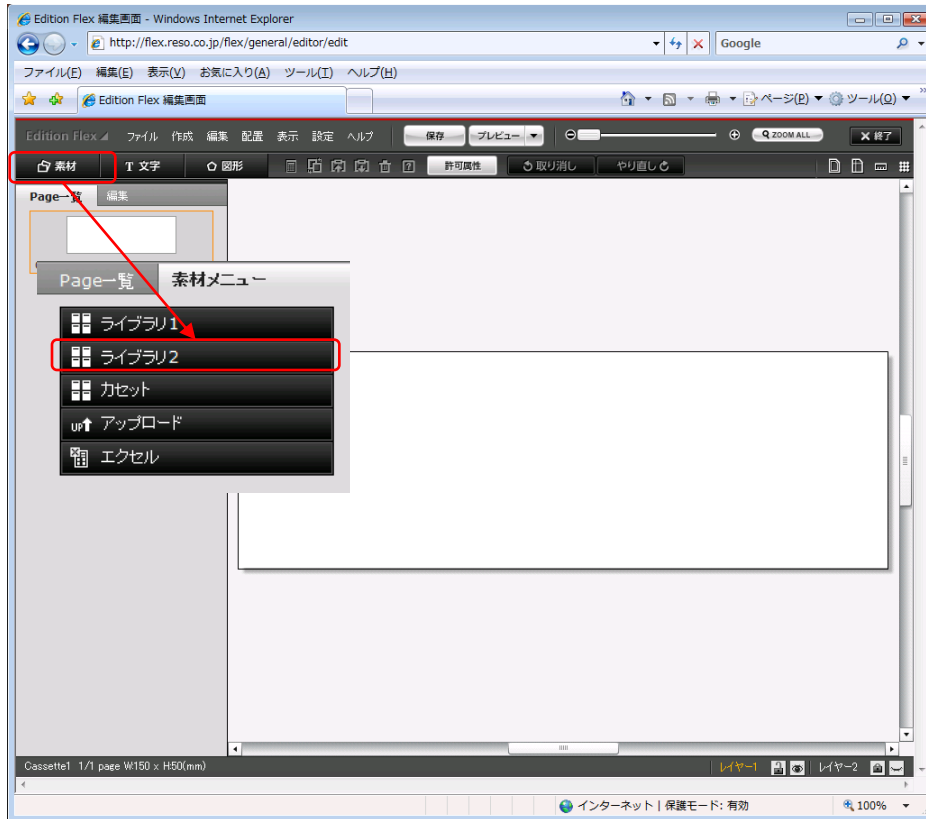
「レイアウト編集」を実行します。Flex エディターの画面に遷移します。



4. カセットの作成・登録

3) 素材のライブラリを表示します。

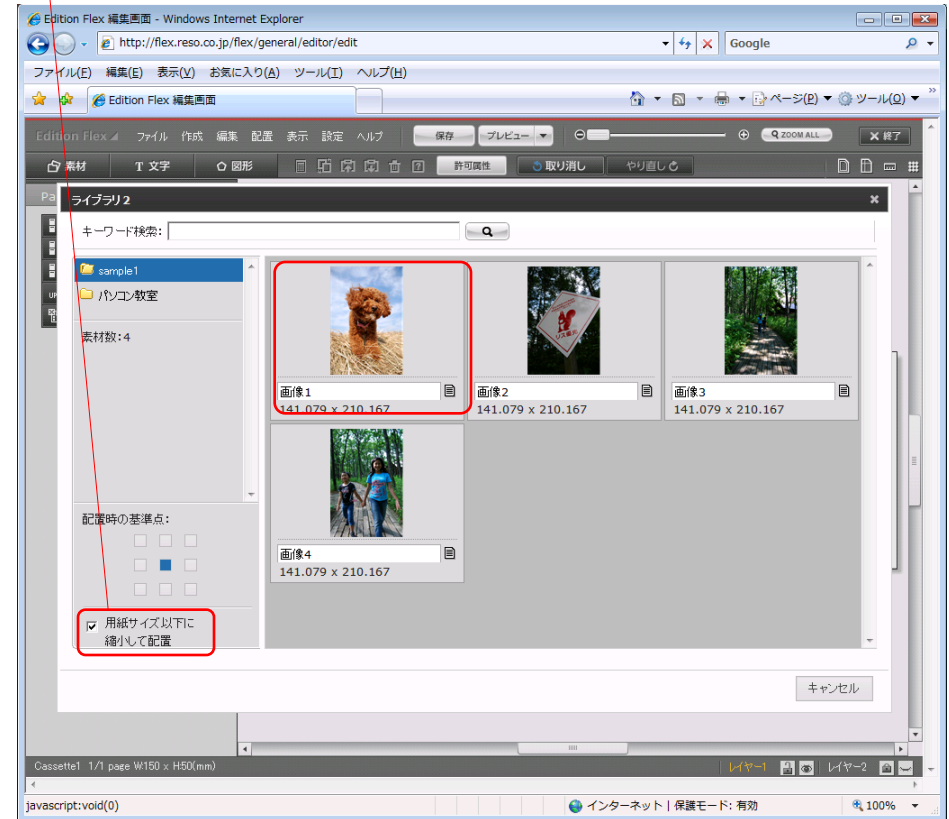
Flex エディター画面が起動しますので、トップメニューの「素材」から「ライブラリ2」を実行して2章で登録した素材のライブラリを表示します。



※BackStage で登録した素材のフォルダが「ライブラリ2」に表示されます。

4) 配置する素材を選択します。

「ライブラリ2」の内容が表示されますので左下の「用紙サイズ以下に縮小して配置」にチェックを入れて、画像を指定します。

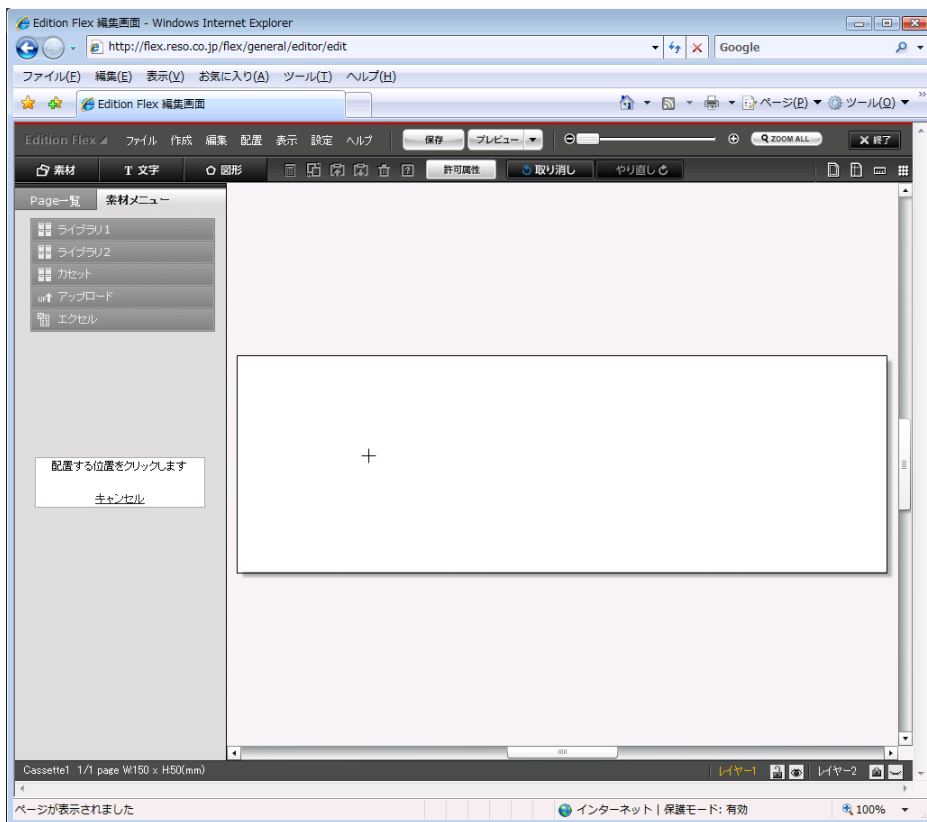


※「用紙サイズ以下に縮小して配置」は、用紙サイズより大きな画像でもはみ出さないサイズに縮小して配置します。

4. カセットの作成・登録

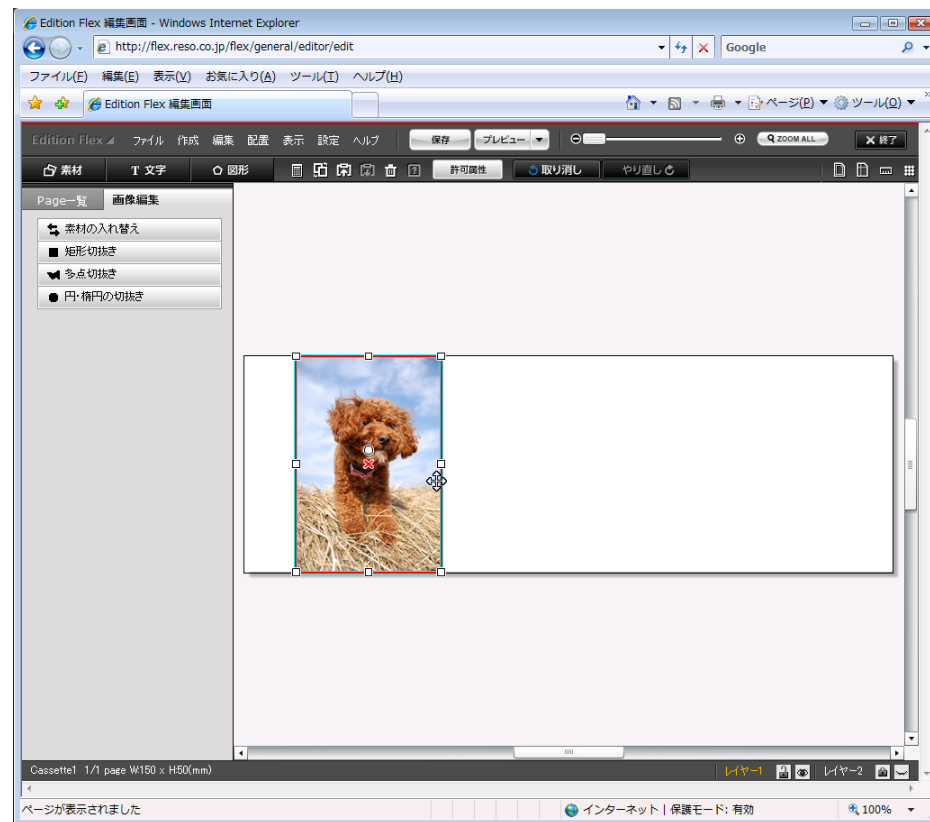
5) 素材を配置します。

素材を配置する位置を右側の編集エリアで指定して、素材を配置します。
ここでは、画像の中心となる位置をクリックします。



6) 画像が配置されますので、ドラッグして位置を調整します。

編集エリアでは、画像にカーソルを置いて、マウスの左ボタンを押したまま移動させて位置調整ができます。



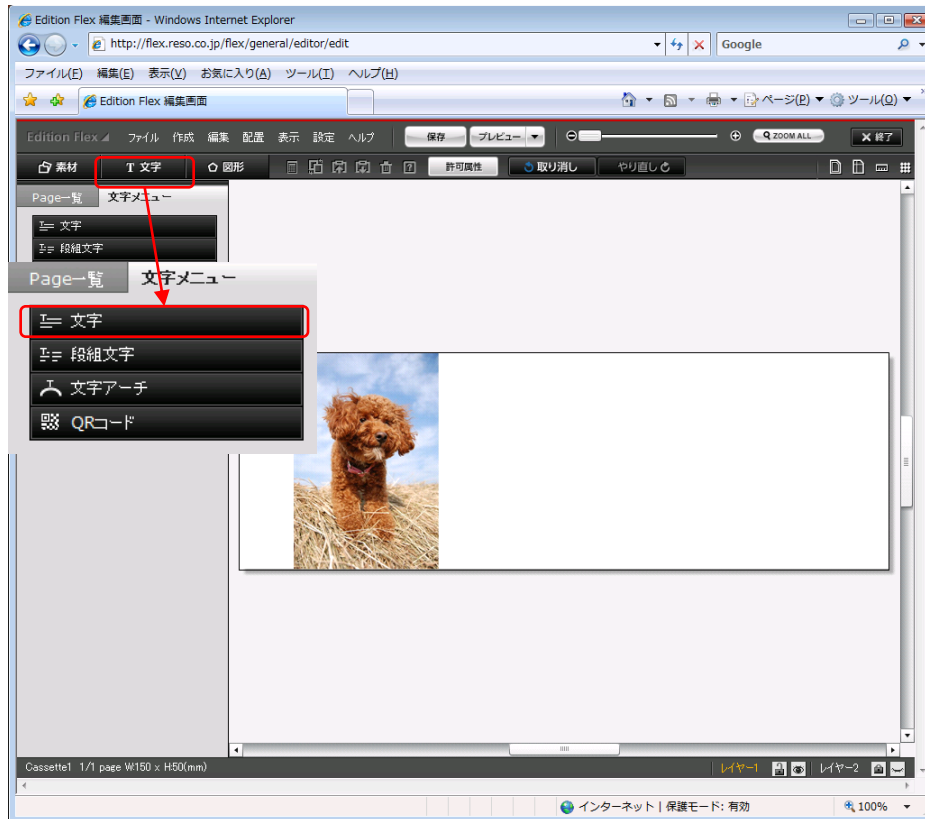
他、サイズと位置編集、などコマンドを使ってレイアウトを編集できます。

機能の詳細については、Edition Flex の説明書を参照下さい。

4. カセットの作成・登録

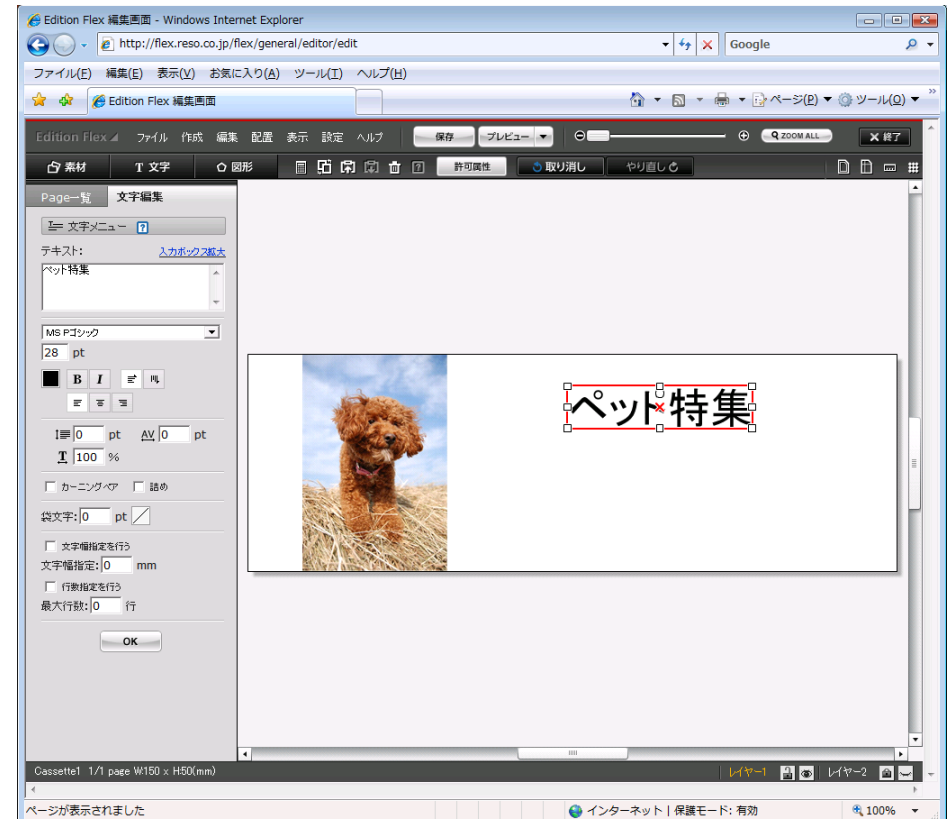
7) 文字メニューを表示します。

トップメニューの「文字」をクリックして、文字メニューから「文字」を実行します。



8) 記載する文字を入力して 配置します。

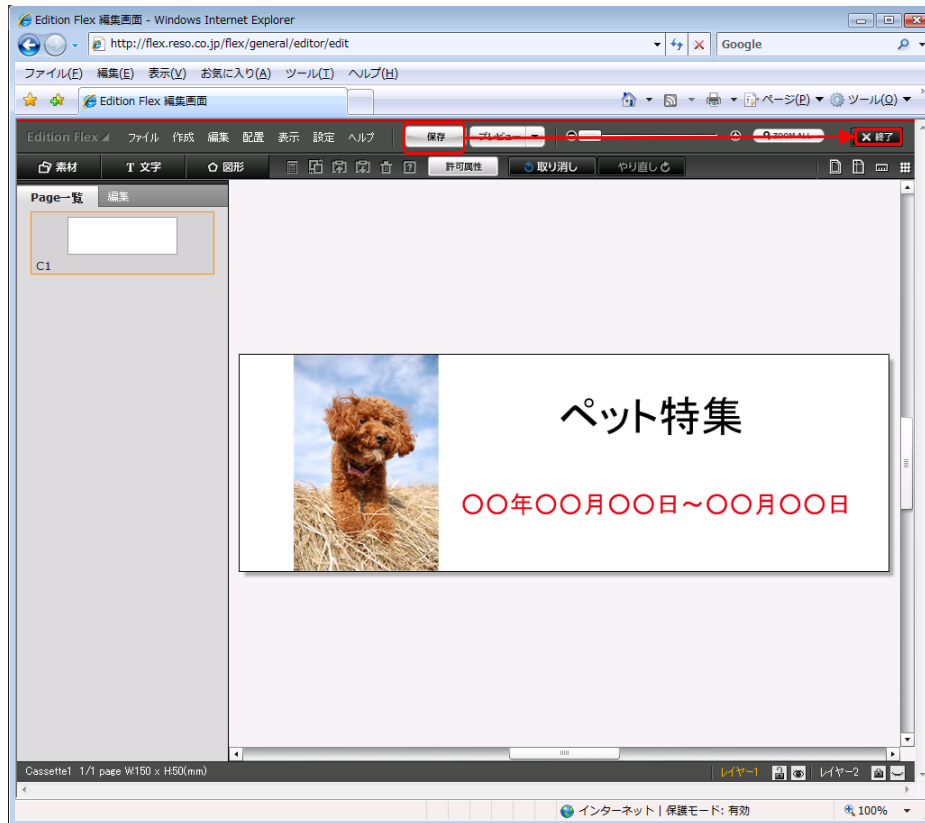
文字の編集パネルで 記載する文字列を入力し、フォント、サイズ等の設定を決めて「OK」し、右の編集エリア上の位置をクリックして配置します。



4. カセットの作成・登録

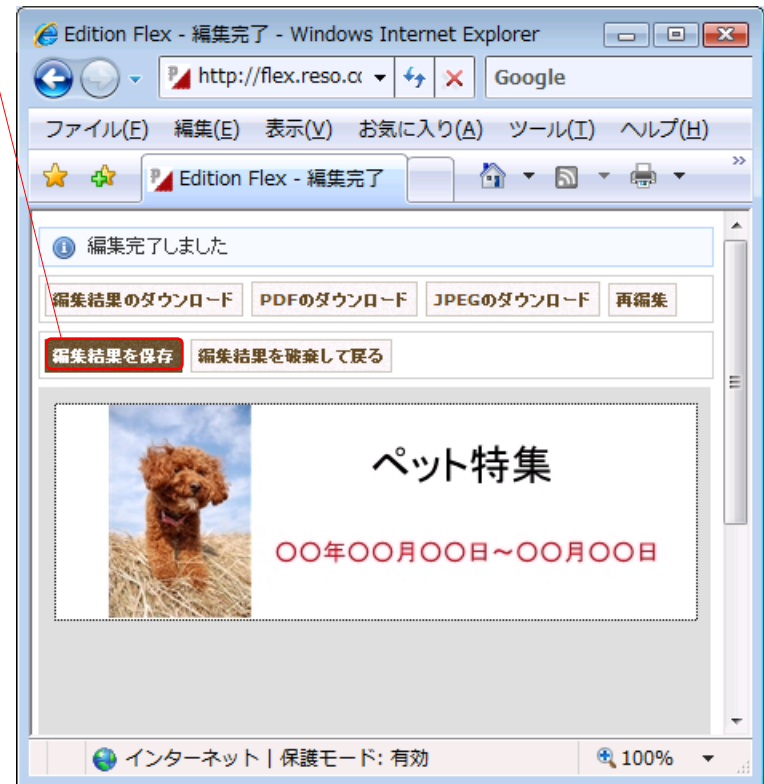
9) 編集結果を保存して終了します。

トップメニューの「保存」をクリックし、ここまでの編集したデータを保存して「終了」を実行します。



10) 編集完了画面で編集結果を保存します。

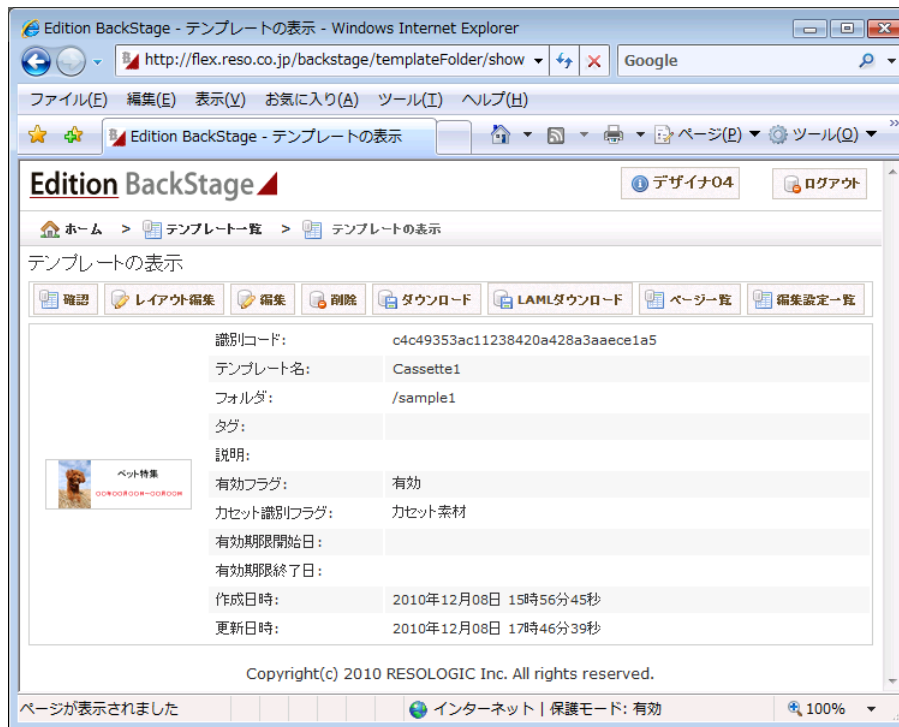
Flex エディターが終了し、編集完了画面が表示されます。「編集結果を保存」を実行して BackStage のデータに適用します。



4. カセットの作成・登録

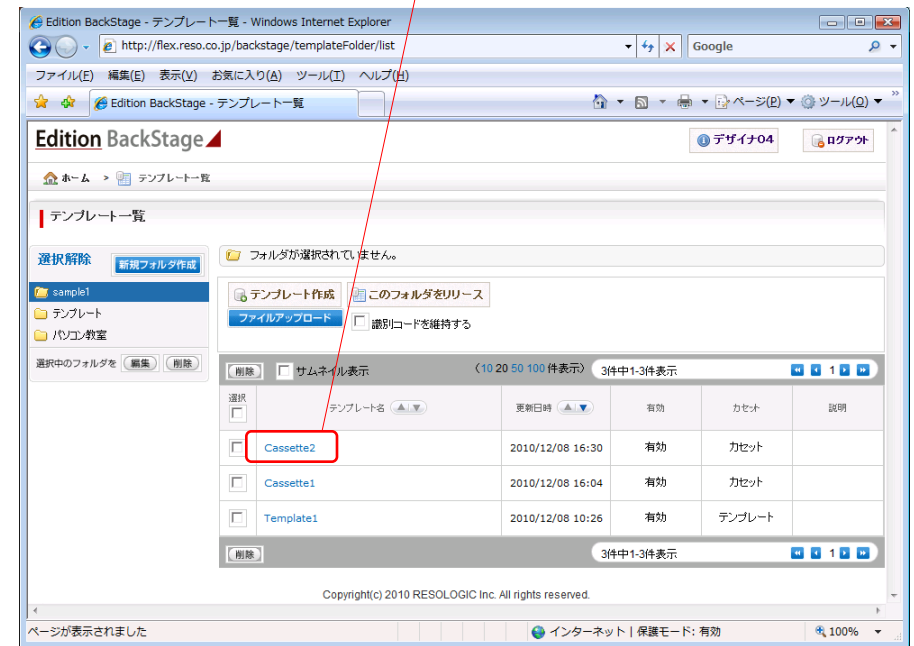
11) テンプレートの表示の内容が更新されます。

BackStage の画面に戻ると、下記の様に表示イメージが更新されます。



12) 2つめのカセットも同様に作成します。

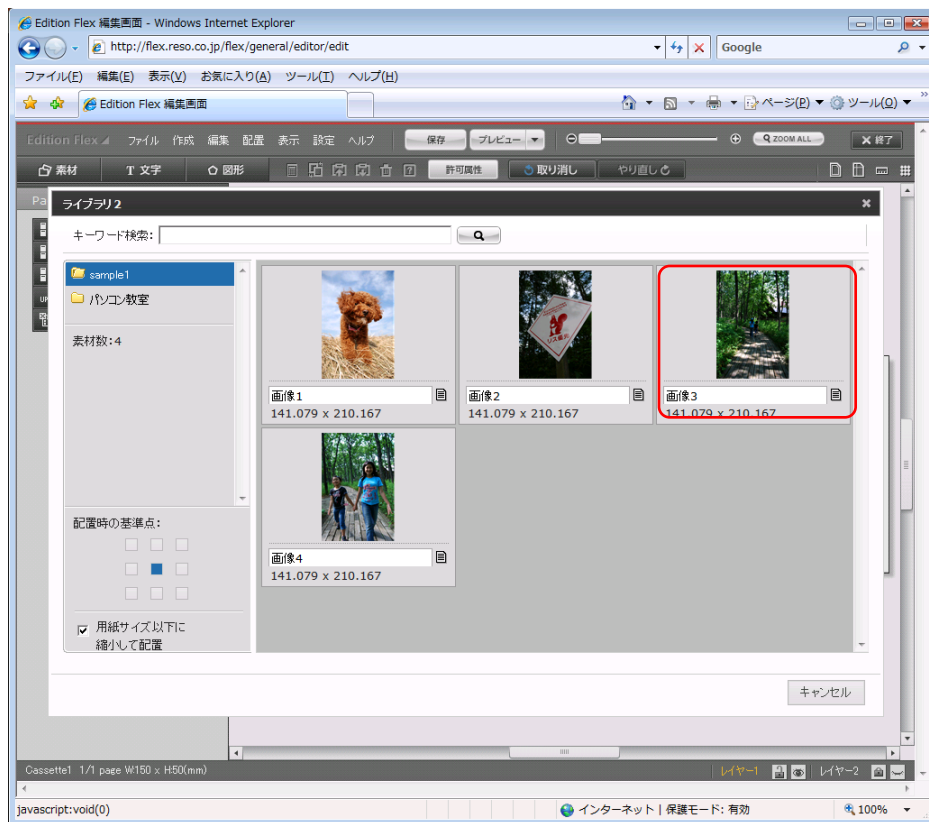
続けて、テンプレート一覧から、Cassette2をクリックします。
本章 2) ~ 11) の同様の手順で Cassette2 も作成します。



4. カセットの作成・登録

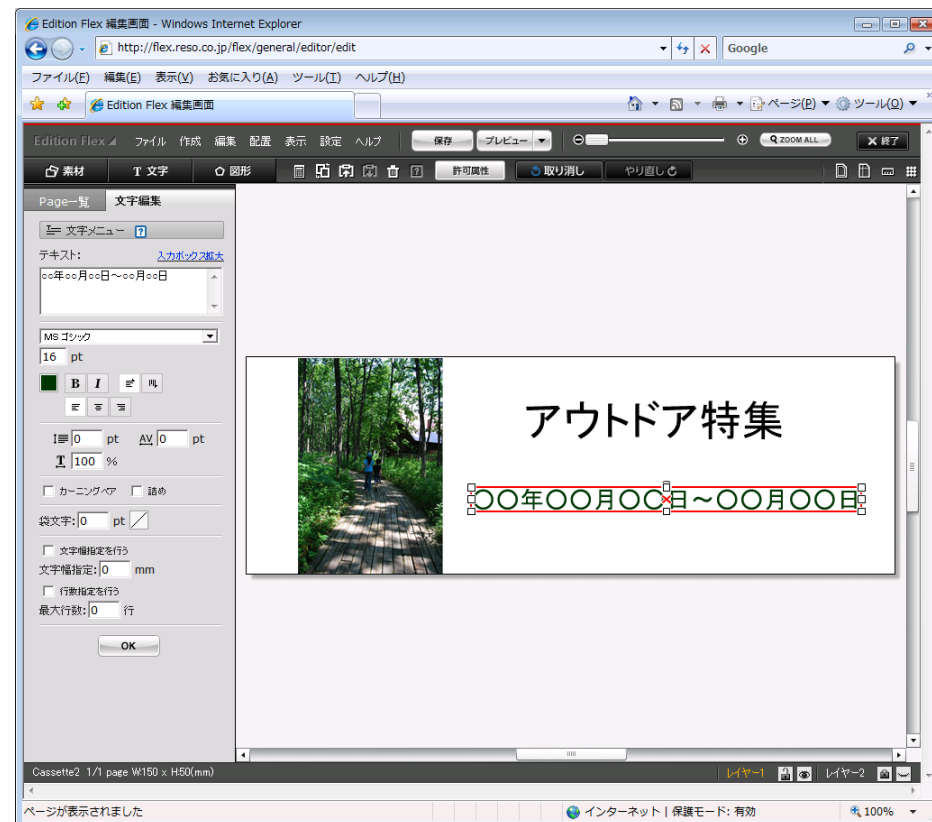
13) 配置する素材を選択し、文字を入力して配置します。

素材メニューの「ライブラリ2」から別の画像をクリックして指定します。



14) 画像、文字を配置して 差替え用のカセットを完成させます。

文字メニューから記載する文字を入力して配置し、Cassette2 のデータを完成させます。

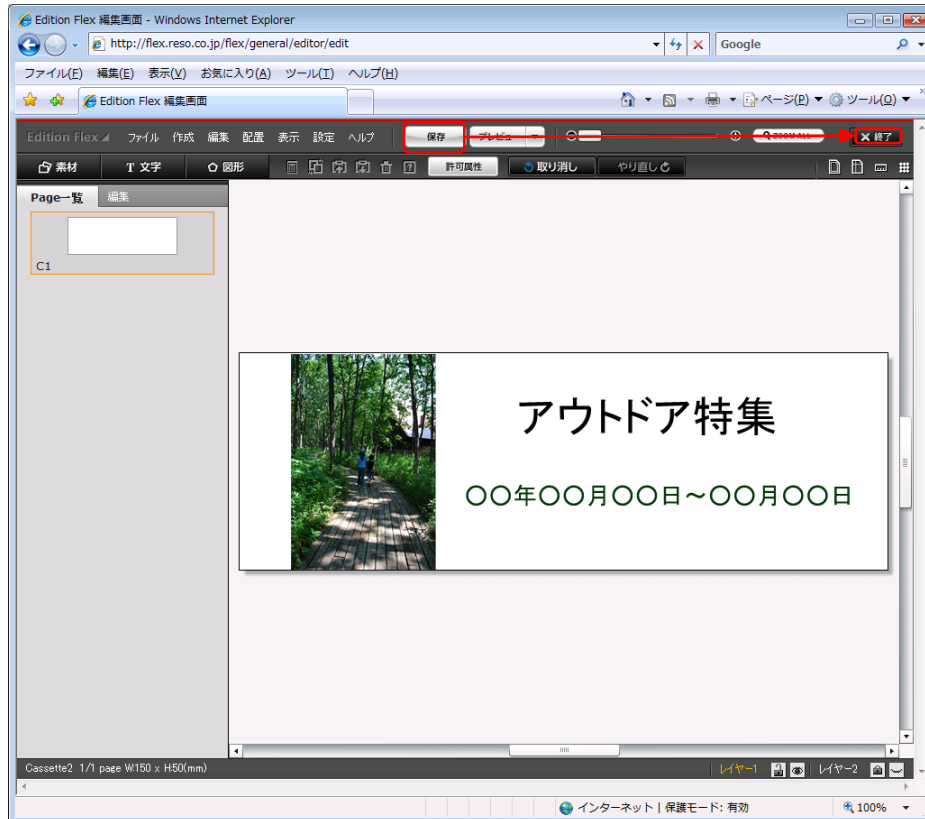


※必要に応じて左下の「用紙サイズ以下に縮小して配置」を指定します。

4. カセットの作成・登録

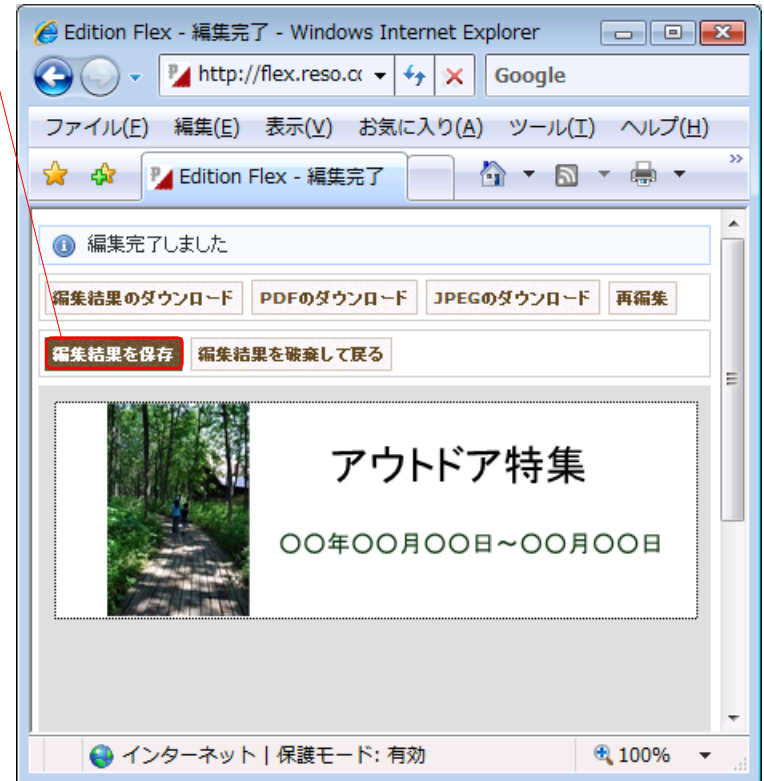
15) 編集結果を保存して終了します。

トップメニューの「保存」をクリックし、ここまでの編集したデータを保存して「終了」を実行します。



16) 編集完了画面で編集結果を保存します。

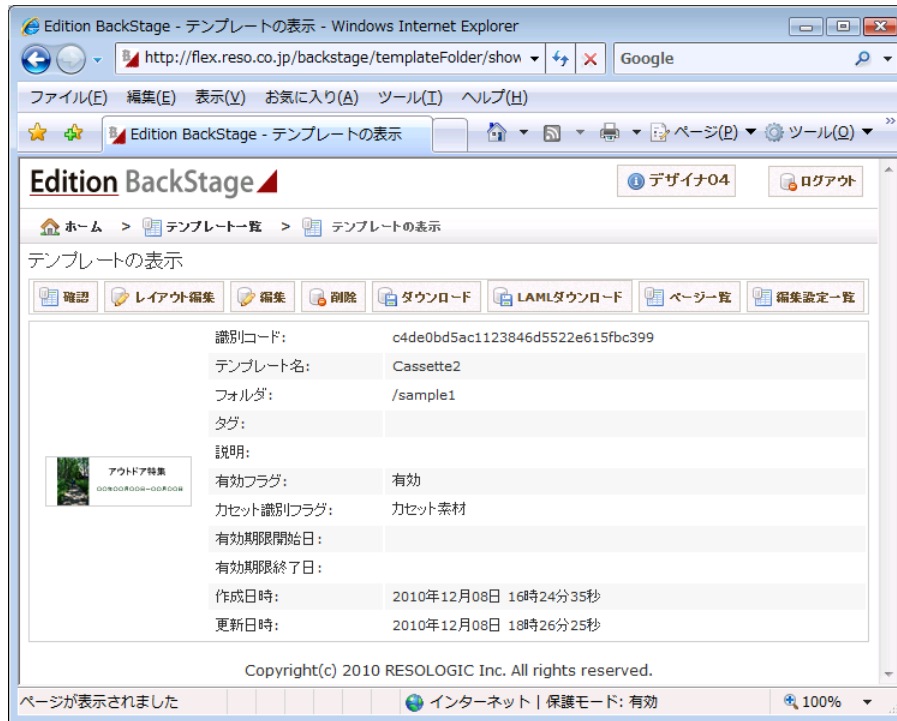
Flex エディターが終了し、編集完了画面が表示されます。「編集結果を保存」を実行して BackStage のデータを更新します。



4. カセットの作成・登録

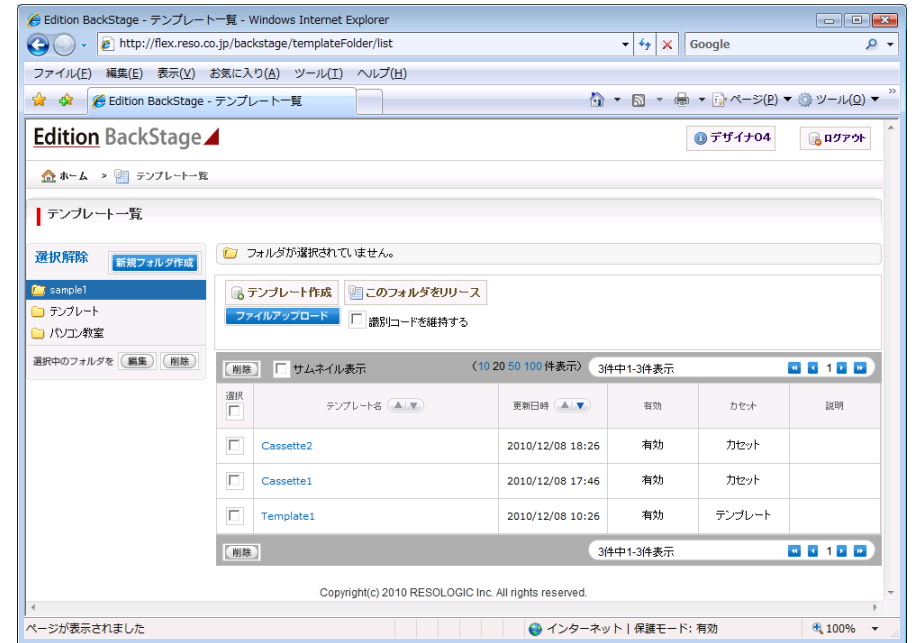
17) テンプレートの表示の内容が更新されます。

BackStage の画面に戻ると、下記の様に表示イメージが更新されます。



18) テンプレート一覧に戻ります。

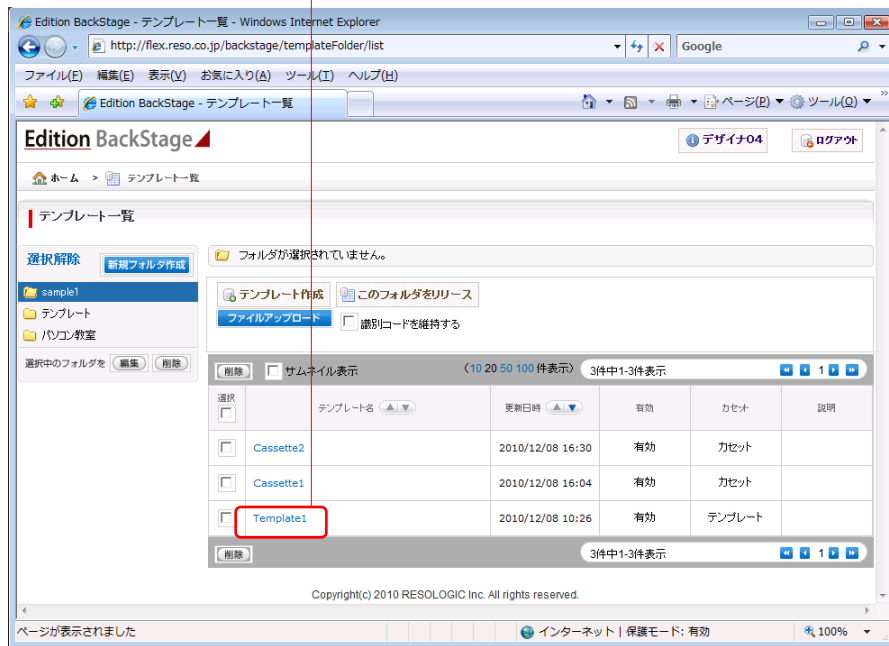
テンプレート一覧を表示します。



5. テンプレートの作成・登録

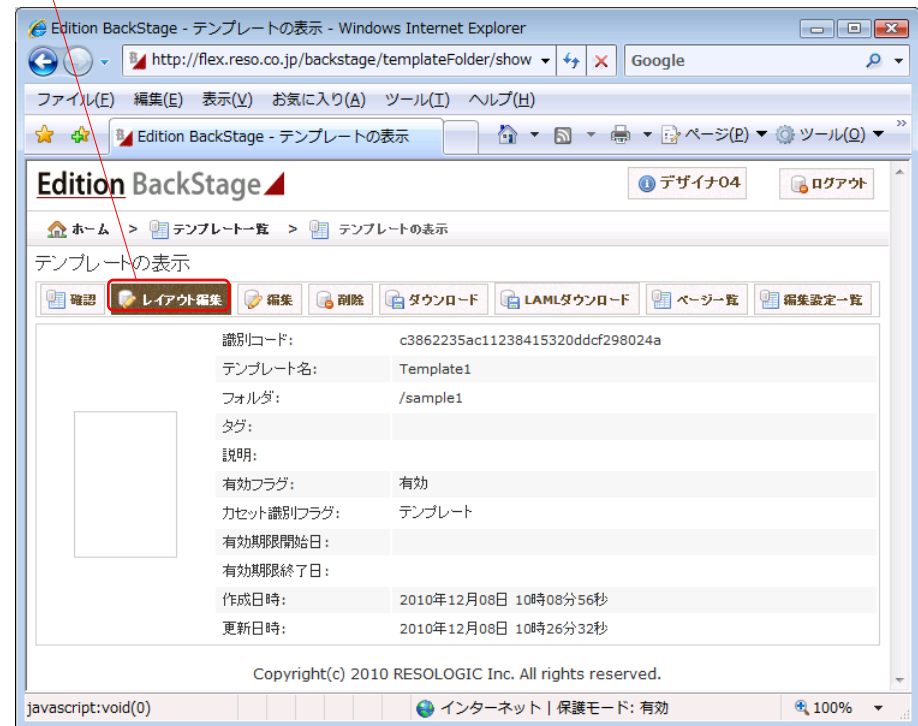
1) テンプレート一覧からカセットを選択してレイアウト編集します。

テンプレート一覧から、Template1をクリックします。



2) レイアウト編集を実行します。

「レイアウト編集」を実行します。
Flex エディターの画面に遷移します。

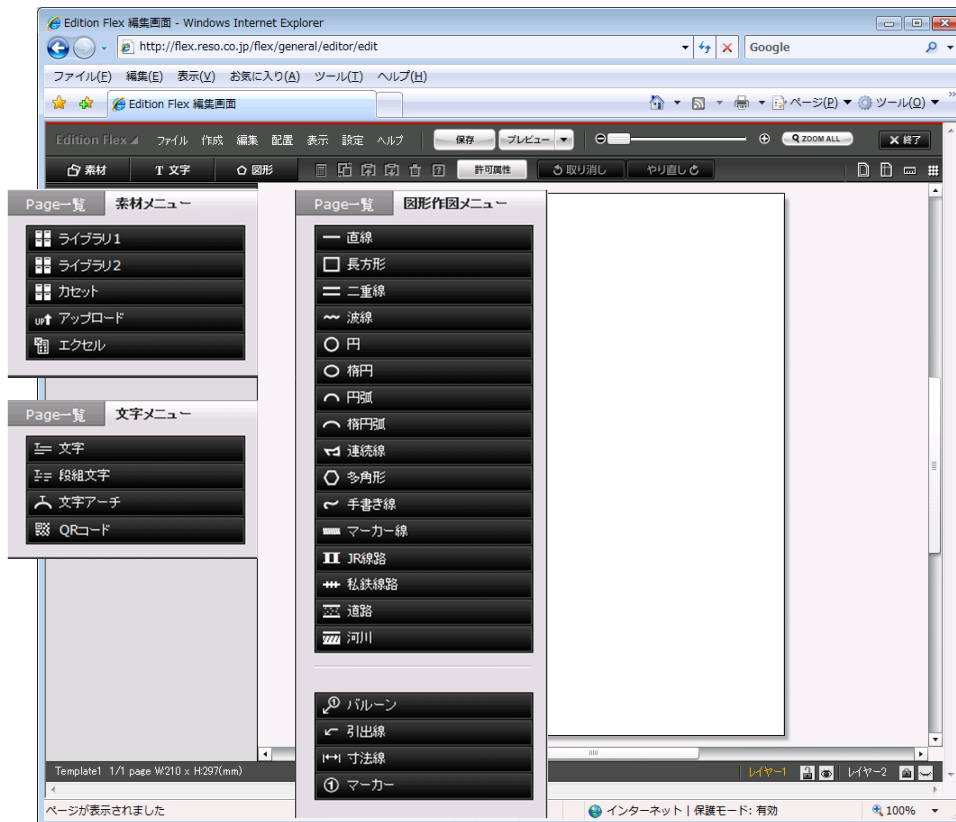


※フォルダが選択されていない場合は sample1 フォルダを選択します。

5. テンプレートの作成・登録

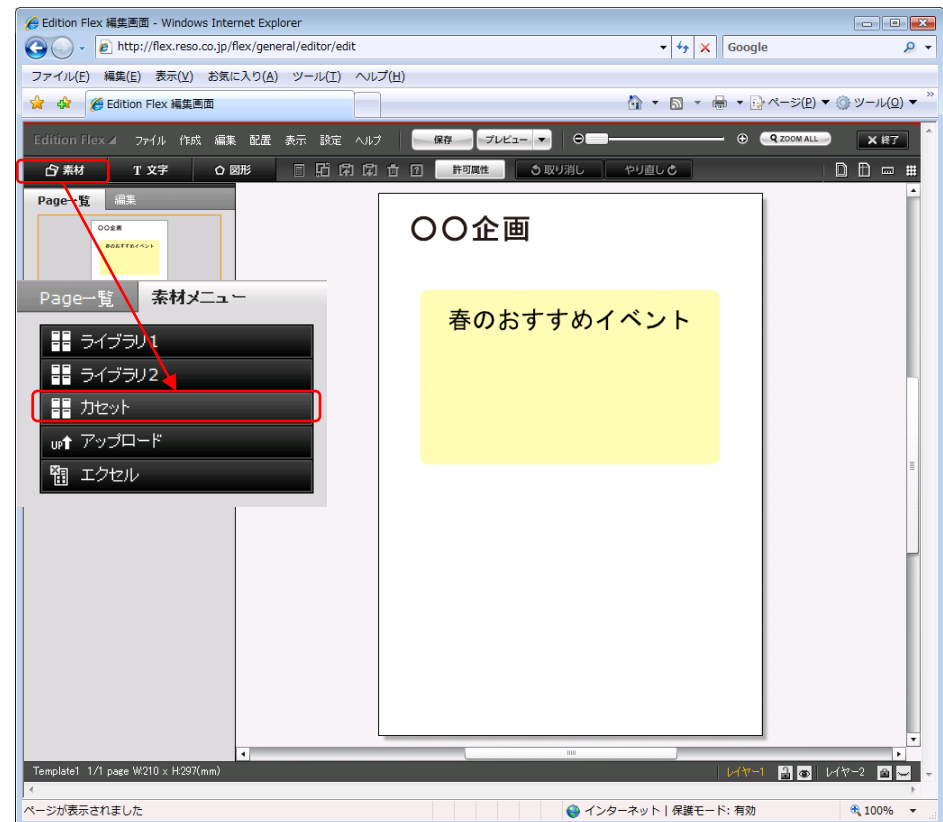
3) 文字、図形などを配置してベースレイアウトを作成します。

Flex エディター画面が起動しますので、各種パーツの配置や、編集機能を使ってベースレイアウトを作成します。



4) 素材メニューからカセットライブラリを表示します。

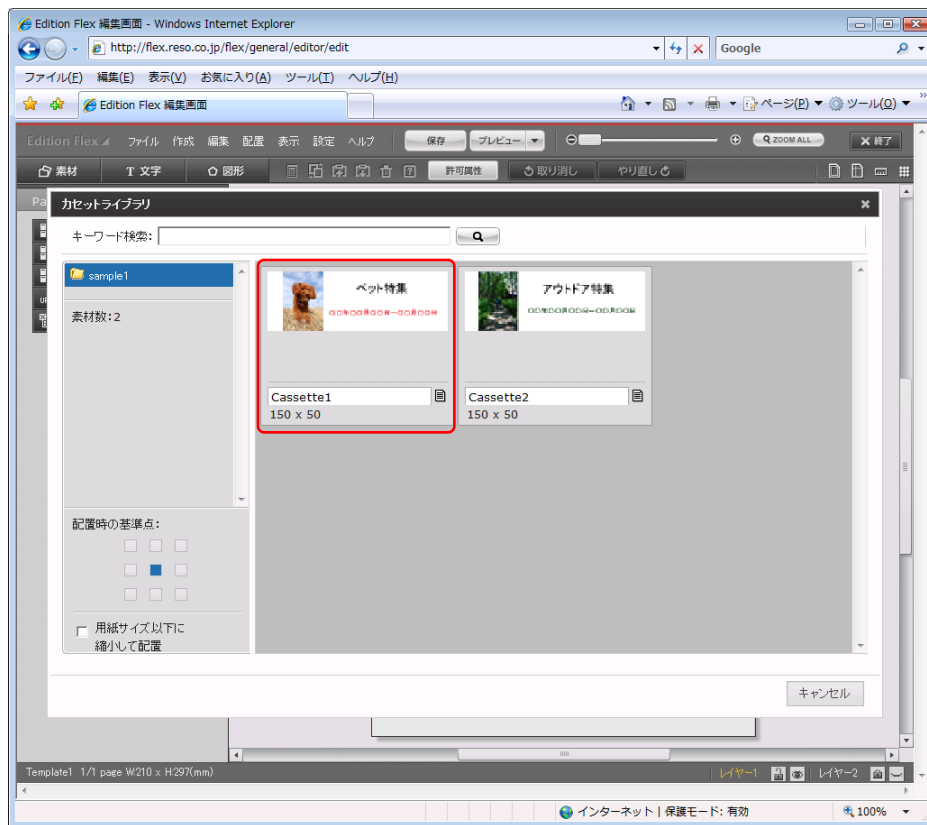
ベースレイアウトができたら、トップの「素材メニュー」から「カセット」を選択して、4章で登録したカセットライブラリを表示します。



5. テンプレートの作成・登録

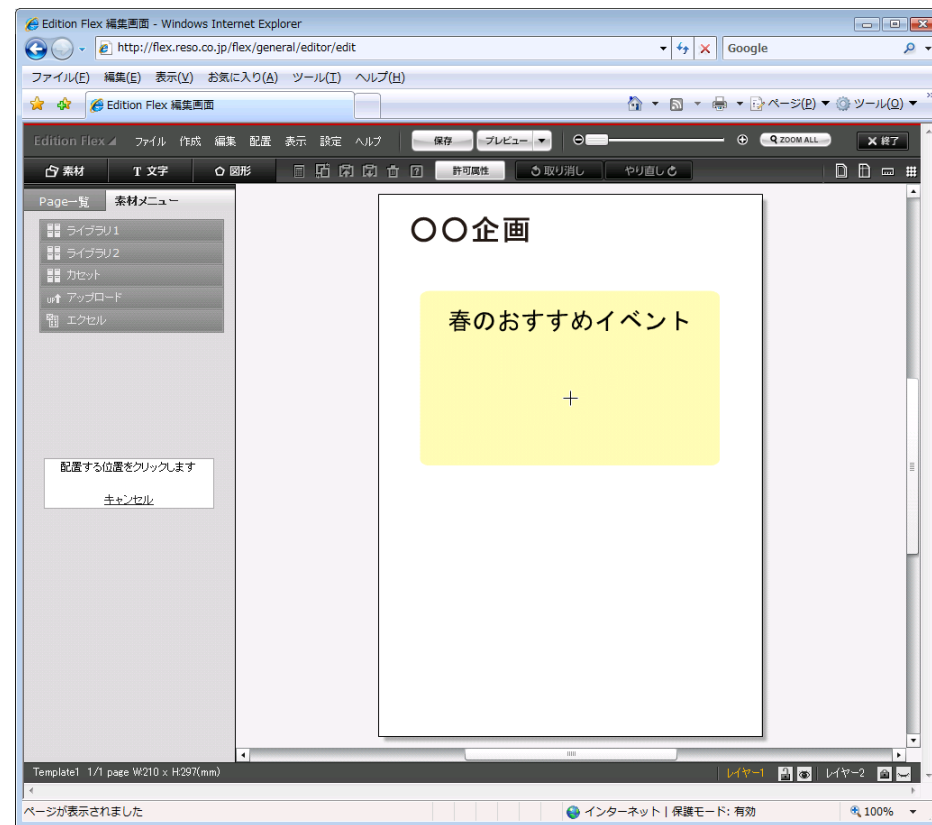
5) 採用するカセットを選択します。

「カセット」の内容が表示されますので Casette1 を指定します。



6) カセットを配置する位置を指定します。

Casette1 を配置する位置を 編集エリア上をクリックして指定します。

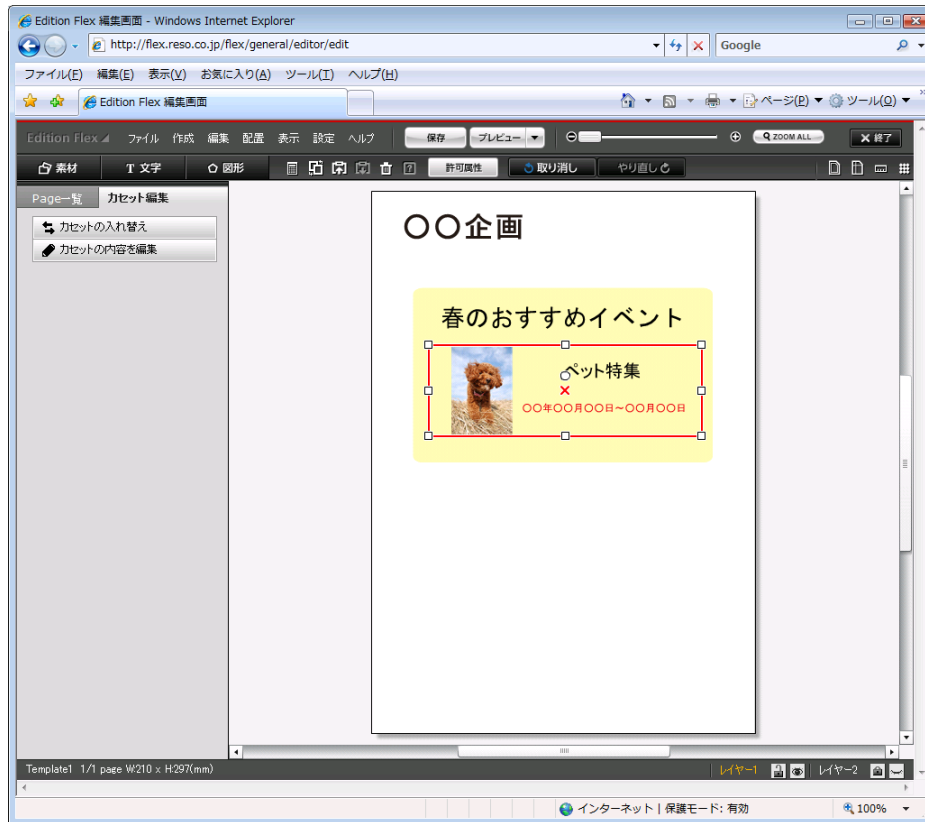


※BackStage で カセット素材が登録されているテンプレートのフォルダが「カセット」に対応して表示されます。

5. テンプレートの作成・登録

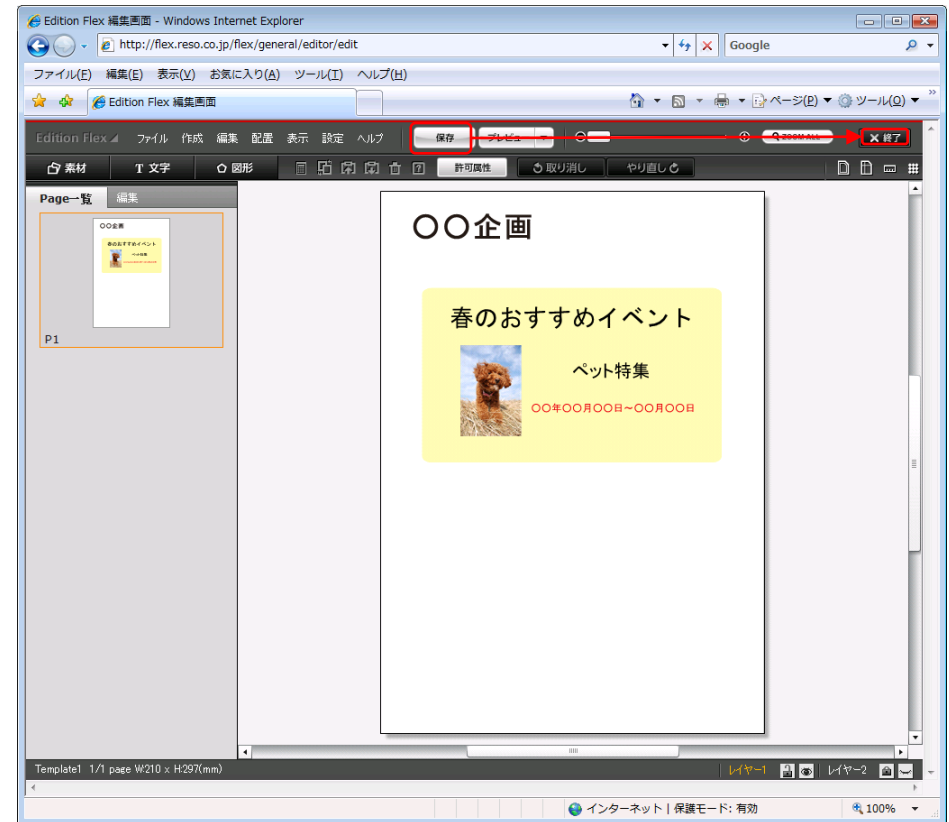
7) カセットが配置されます。

選択した「カセット」が配置されますので 位置を調整して完成させます。



8) テンプレートの編集結果を保存して、終了します。

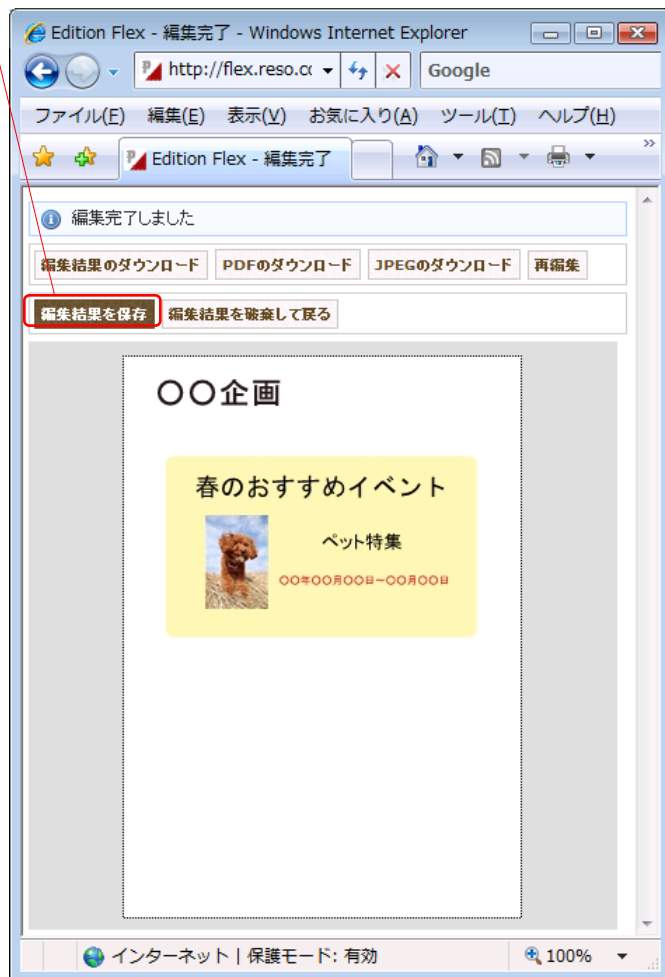
トップメニューの「保存」をクリックし、ここまでの編集したデータを保存して「終了」を実行します。



5. テンプレートの作成・登録

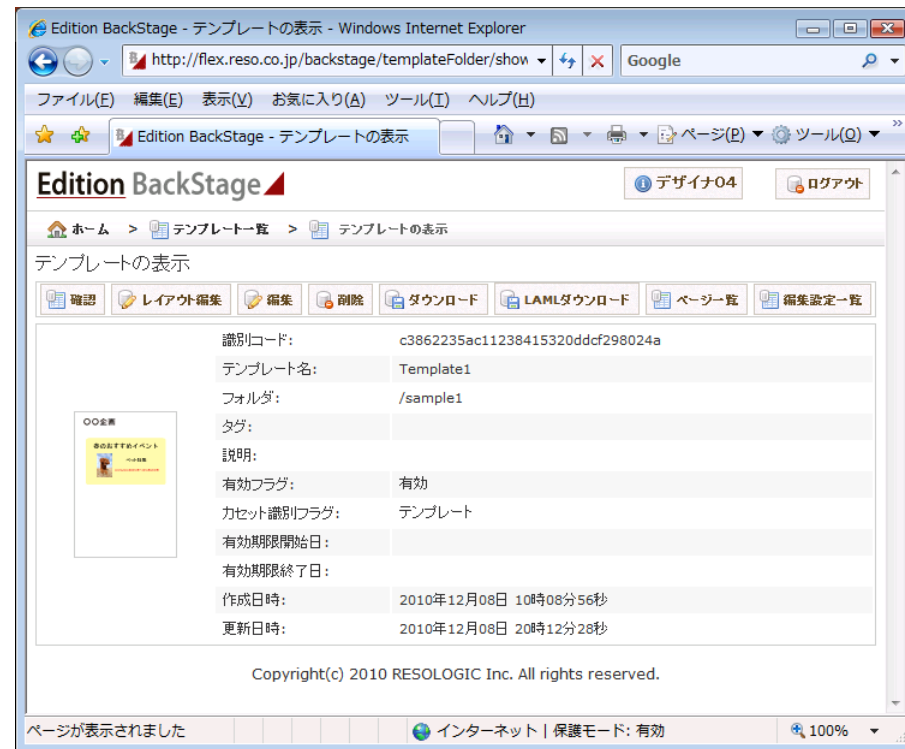
9) 編集完了画面で編集結果を保存します。

Flexエディターが終了し、編集完了画面が表示されます。
「編集結果を保存」を実行して BackStage のデータを更新します。



10) テンプレートの表示の内容が更新されます。

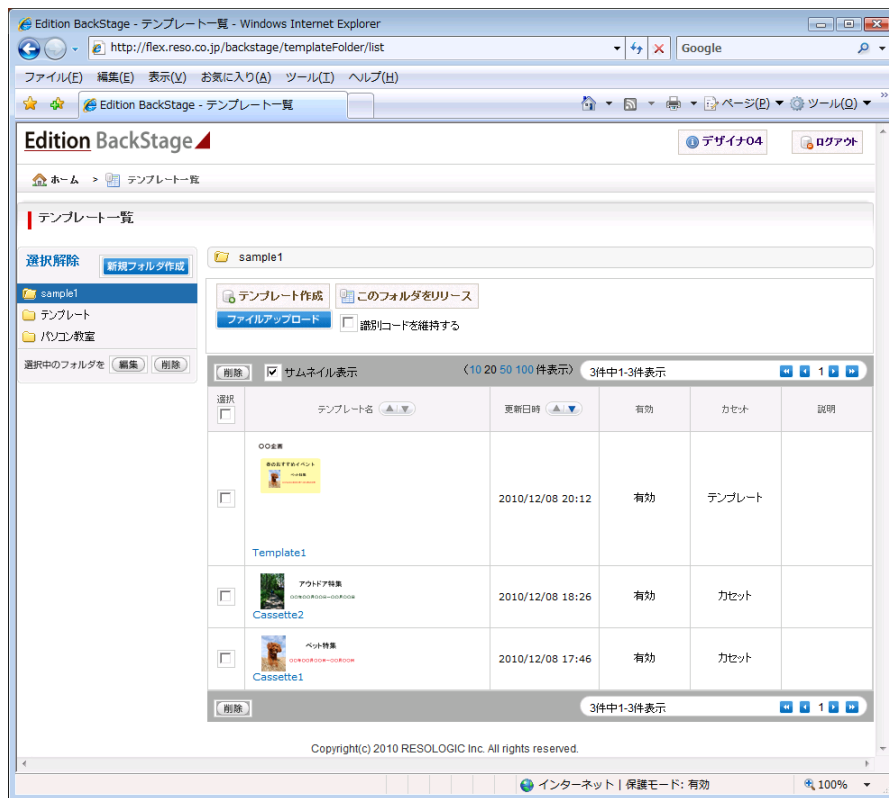
BackStage の画面に戻ると、下記の様に表示イメージが更新されます。
これでベースのテンプレートが完成です。



6. テンプレートの編集

1) テンプレート一覧を表示します。

「テンプレート一覧」を実行して sample1 フォルダを表示します。
※「サムネイル表示」にチェックするとサムネイルが確認できます。



2) 編集するテンプレートを選択します。

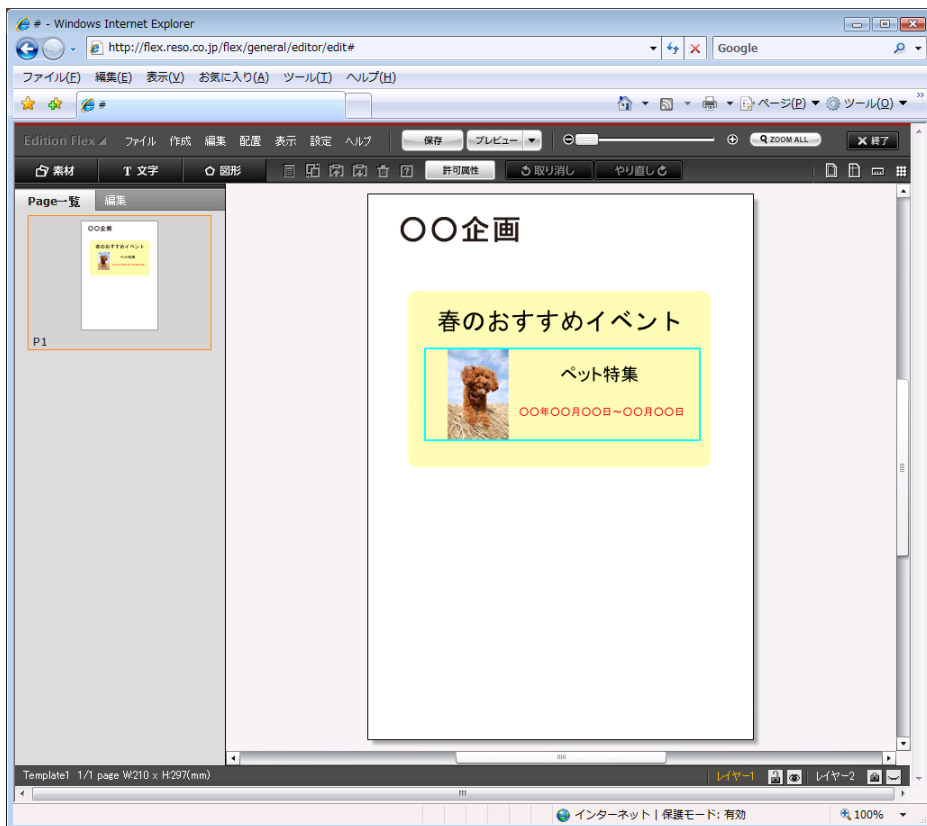
5.章で登録した Template1 をクリックしてテンプレートの表示画面にし、「レイアウト編集」を実行します。



6. テンプレートの編集

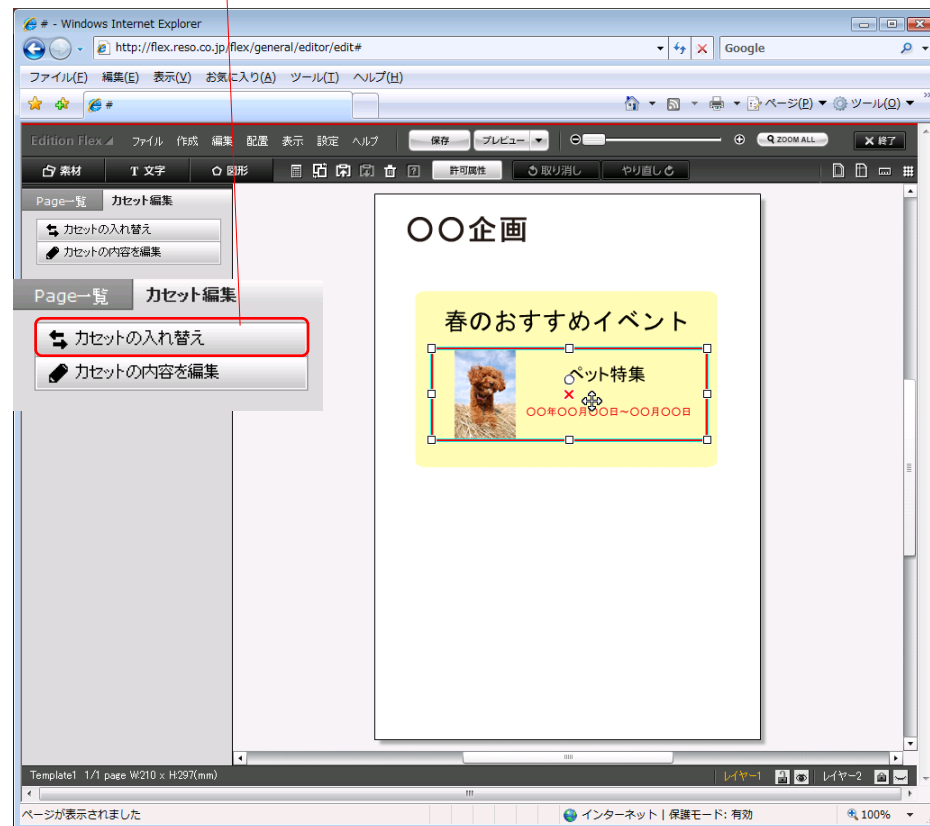
3) カセット素材を選択します。

Flex エディター画面が起動しますので、カセット素材部分をクリックして選択状態にします。



4) カセットを入れ替えます。

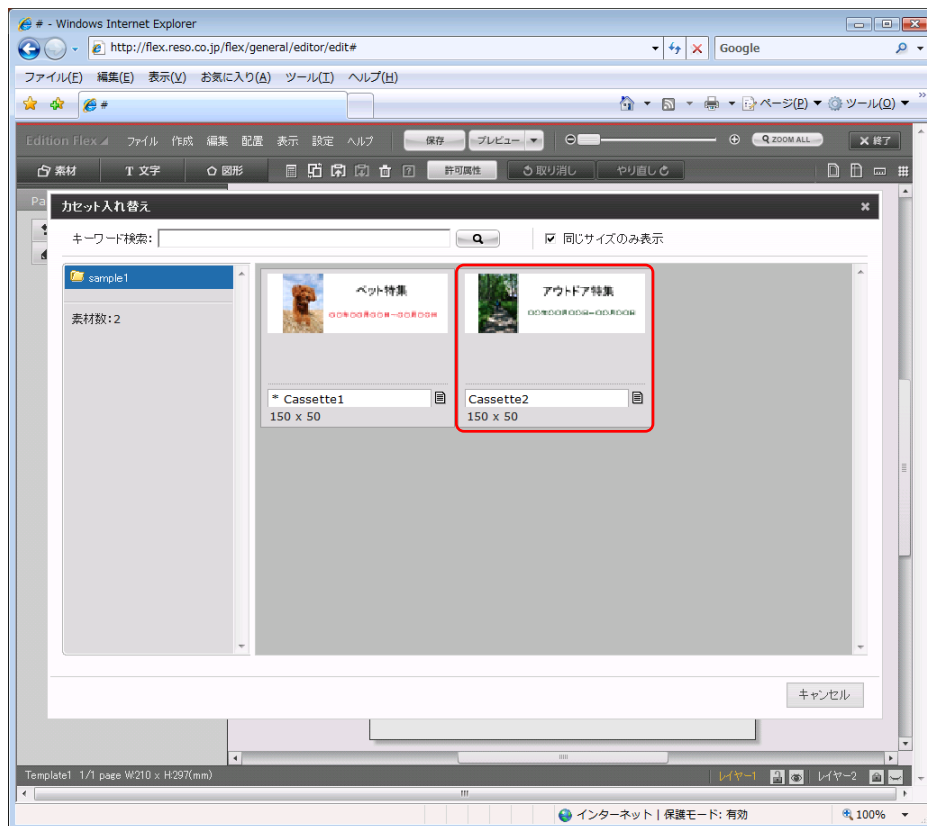
編集パネルの「カセットの入れ替え」を実行します。



6. テンプレートの編集

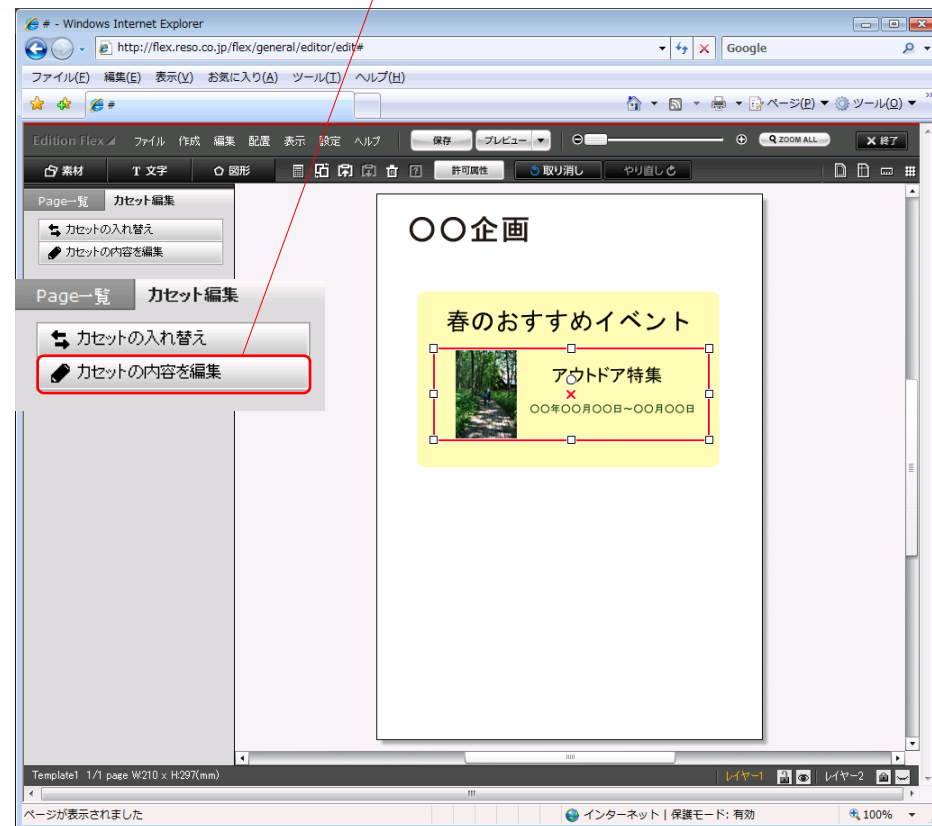
5) 別のカセット素材を選択します。

カセット入れ替え指定メニューが表示されますので、別のカセット素材をクリックして選択します。



6) 入れ替わったカセットの編集を指定します。

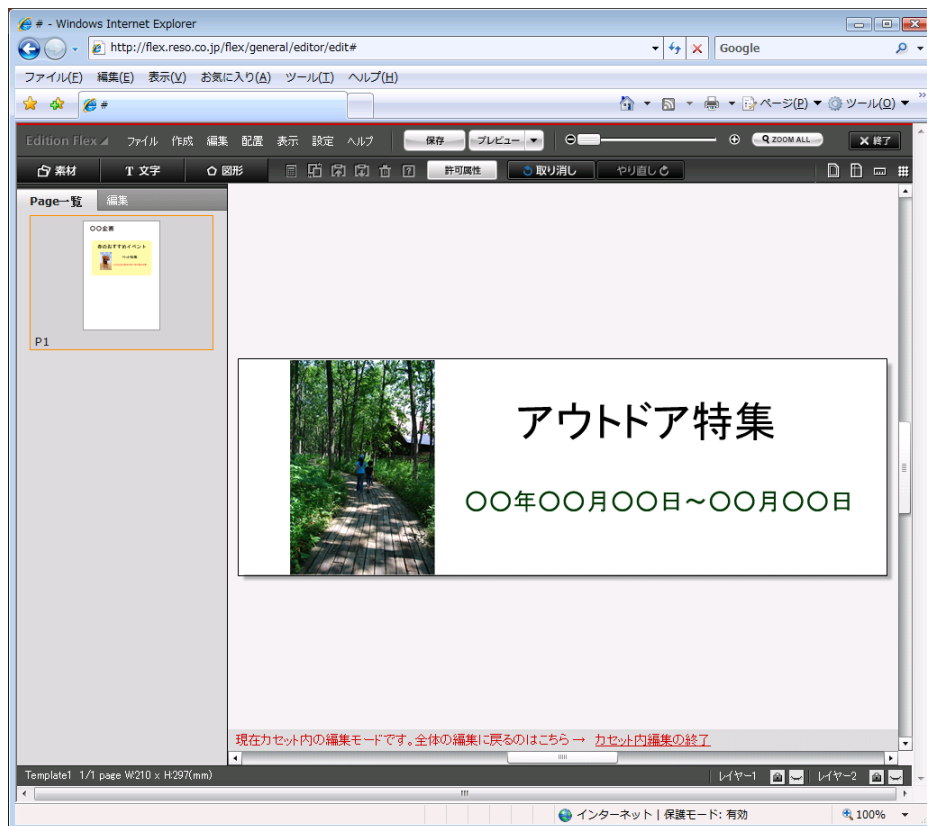
選択したカセットに入れ替わります。新しく入れ替わったカセットが選択された状態で、編集パネルの「カセットの内容を編集」を実行します。



6. テンプレートの編集

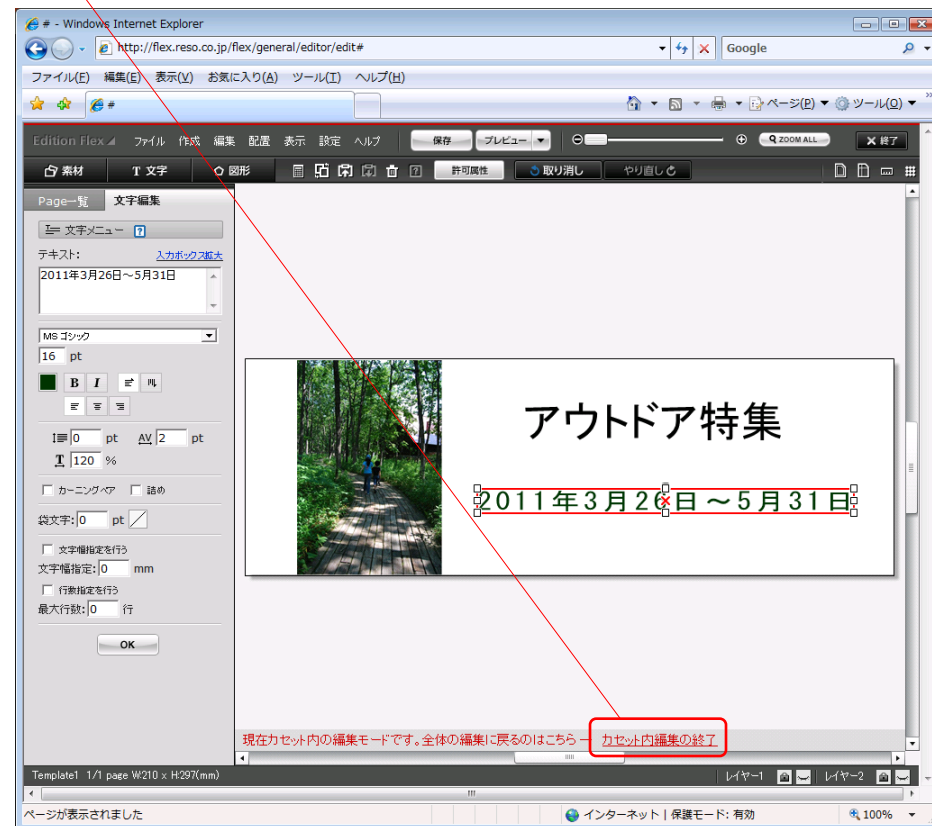
7) カセット内の編集モードで、内容を編集します。

カセット内の編集モードとなりますので、この状態でカセットの内容を編集します。



8) カセット内の編集を終了します。

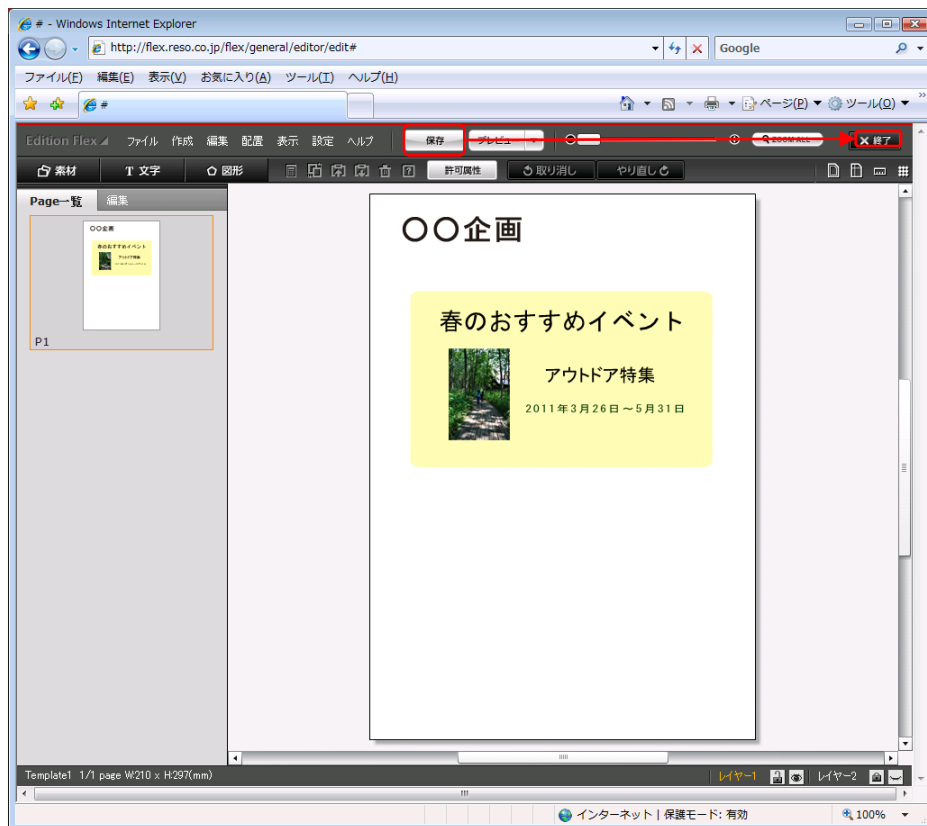
カセット内の編集が完了したら、編集エリア下部に表示されている赤文字の「カセット内編集の終了」のリンクを実行します。



6. テンプレートの編集

9) テンプレートの編集結果を保存して、終了します。

トップメニューの「保存」をクリックし、ここまでの編集したデータを保存して「終了」を実行します。



10) 編集完了画面で編集結果を保存、もしくはダウンロードします。

Flex エディターが終了し、編集完了画面が表示されます。後工程に応じて、データの保存、もしくは成果物をダウンロードします。

